公益財団法人 日本ハンドボール協会編　平成26年7月1日発行（毎月1回1日発行）通巻544号

ハンドボール

特集

第9回 春の全国中学生選手権大会

第11回 東アジアクラブ選手権

JUN. JUL. 2014 No.544

［表紙写真］第9回春の全国中学生選手権大会、男子優勝・平田中の村上涼選手（左）、女子優勝・平田中の横田希歩選手（右）：写真提供・スポーツイベント社

公益財団法人 日本ハンドボール協会
http://www.handball.jp/

molten
For the real game

For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
世界に類のない、ボールとスポーツエキップメント・メーカーとして
常に完璧な製品づくりを目指しています。

株式会社モルテン　東京都墨田区横川五丁目5-7

www.molten.co.jp

審判部の取組み

公益財団法人 日本ハンドボール協会常務理事・審判長　**藤井 俊朗**

平素から、色々な場面において審判活動に御協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度審判部では、平成 26 年度日本協会事業計画を基に、国際基準を踏まえたレフェリー技術の向上は必達と捉え、国際レフェリーと国内レフェリーが同じ国際基準に立ったジャッジを行うための指導・育成方針を構築し、徹底するための活動を行います。一方、次世代を担う若手レフェリーおよび女性レフェリーの発掘・育成にも具体策を講じ、レフェリー登録人口拡大にも取り組んでまいります。

各ブロック審判長を中心に各地講習会において、国際ハンドボール連盟発行のレフェリー指導用教材を用い、国際基準に沿った判定基準と考え方を徹底させるとともに、各連盟審判長の下、それぞれのカテゴリーに相応しい運用方法が浸透するよう指導を行います。また、日本リーグを含むすべての全日本大会において、統一された様式でレフェリー評価を実施し、レフェリー個々のレベルアップに役立てます。

本年４月『レフェリーハンドブック 2014』が完成しました。これは、2010 年競技規則改正、2011 年・2012 年の一部変更という国際的な流れを受けており、内容については、これまでの『競技規則必携』にあるような競技規則変更や条文の解釈にとどまらず、レフェリーの技術やトレーニング方法についても国際情報を基にレフェリーにとってより利用しやすく編集され、名称も『レフェリーハンドブック』とし、国内レフェリーの技術を国際基準へと向上させることを目的としております。更には競技運営に関する事項、本年４月１日一部変更された公認審判員規程についても記載されており、レフェリーのみならずトレーナー諸氏においても競技規則をより深く理解することで、ハンドボール競技発展の一助となるよう期待しております。なお、国際基準を踏まえ文中の用語の一部を変更し記載しています。（例:ダブルドリブル⇒イリーガルドリブル、ポストプレーヤー⇒ピボットプレーヤーなど）

これを第１版とし、今後国際連盟からの通達や新たな国際情報に合わせて随時更新し、最新の情報を提供できるよう日本協会ホームページにて公開しておりますので、いつでも、どこでも、誰でもダウンロードして御利用いただけます。

2019 年熊本女子世界選手権、2020 年東京オリンピックはレフェリー界にとっても大きなチャンスとして捉え、これを目指した国際レフェリーの育成のために、有望レフェリーの海外研修派遣を計画します。既に本年は８月上旬に女性２名をヨーロッパに派遣することを決定しております。

Ａ級・Ｂ級公認審判員審査会は、受験者の便宜を図るため昨年度から３地区で開催される全国クラブ選手権大会および関東ブロック大会で実施させていただいております。昨年は取組みの初年度ということもあり各開催地協会の皆様には御迷惑をお掛けいたしましたが、受験日程の選択肢が増えたことにより、受験者数は増加、欠席者は減少し、はっきりとした成果が見られますので、今後も継続して実施したいと考えております。

引き続き平成 26 年度も審判部の活動に対して、皆様の御協力・御支援を賜りますようお願いいたします。

平成25年度

第9回 春の全国中学生ハンドボール選手権大会

男女共に平田中学校が初優勝を飾る！

最終順位

【男子】
優　勝：岩国市立平田中学校（山口県）
準優勝：氷見市立西條中学校（富山県）
３　位：川口市立戸塚中学校（埼玉県）
　　　　東久留米市立西中学校（東京都）

【女子】
優　勝：岩国市立平田中学校（山口県）
準優勝：東久留米市立西中学校（東京都）
３　位：千葉市立若松中学校（千葉県）
　　　　浦添市立港川中学校（沖縄県）

会　期：平成26年3月26日（水）～3月29日（土）
会　場：氷見市ふれあいスポーツセンター、富山県立氷見高等学校第一体育館、氷見市立南部中学校体育館

［4点とも］写真提供：スポーツイベント社

第９回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を振り返り

氷見市実行委員会事務局次長　飯山　進

～氷見に咲く君は春中ハンドの風になる～の大会スローガンのもと、平成26年3月25日に開会式が行われ26日から29日まで全国の中学生ハンドボーラーが「ハンドボールの聖地」氷見市にて熱戦を繰り広げました。

春の全国中学生ハンドボール選手権大会は、一般財団法人地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」の支援を受けて今年で9回目を迎えます。今年度も46都道府県より男子47チーム（新潟県不出場）女子45チーム（青森県、新潟県、島根県不出場）男女計92チームが参加しました。開会式前のアトラクションでは、大崎電気所属の宮﨑大輔選手の模範演技や地元中高生ユニットの“寒ぶりっ娘”による大会歌「輝く､君は」も披露され大会ムードが一気に盛り上がりました。開会式では、多くのご来賓の方々にご出席賜り、日本ハンドボール協会渡邊会長などから選手達に温かい励ましの言葉をいただきました。

競技は、氷見市ふれあいスポーツセンターをメイン会場に富山県立氷見高校会場と今年より氷見市立南部中学校を新しく会場とし3会場で熱戦が繰り広げられました。例年、残雪があり雪がちらつく日もあるのですが、今年は、暖冬で会場周辺の駐車場等もスムーズに大会運営できました。また､選手のコンディショニングも考慮し各会場に富山県アスレチックトレーナー協会のトレーナーの方々を配置し無料のテーピングサービスを行いました。また、大怪我、インフルエンザ等の感染症にも気を遣い、ドクターも配置することで選手たちは競技に集中して大会に挑めたことに関係各位に感謝申し上げます。

この大会は、地域活性化の観点から各チームに氷見市内の地区から“おもてなし”の精神で市民がサポーターとなりチームの応援をする制度をとっております。中学生の奮闘を応援する市民も共にひとつひとつのプレーに一喜一憂し感動を分かち合っていました。大会期間中長期滞在になることから本大会とは別に交流試合も企画しております。新人チームになってから間もないということで本大会と同様、交流試合も熱気に包まれておりました。

大会の結果は、女子の部は、2度目の優勝を狙う東京都代表東久留米市立西中学校と昨年は準優勝で今年こそ頂点を目指す山口県代表の岩国市立平田中学校の決勝戦となり延長戦の末、平田中学校が初優勝の栄冠を勝ち取りました。男子では、地元の開催地代表氷見市立西條中学校が激戦の準決勝を勝ち抜き決勝へ駒を進めましたが、女子の部でも優勝した山口県代表の岩国市立平田中学校の硬いディフェンスを崩すことができず平田中学校が男女アベック優勝を成し遂げました。1回戦から決勝戦まで、延長戦や7mTCまでもつれる大接戦が繰り広げられ会場は大いに盛り上がり汗ばむほどの熱気でした。

最後になりますが、夢見る中学生ハンドボーラーに素晴らしい環境を整え大会を成功に導いていただきました日本ハンドボール協会はじめ関係各位に心より感謝申し上げます。

男女優勝　岩国市立平田中学校（山口県）

岩国市立平田中学校 男女ハンドボール部監督　藤髙　学

この度、第９回春の全国中学生ハンドボール選手権大会において男女での優勝という快挙を達成でき、大変光栄に思います。今大会の開催に向け、ご尽力された富山県ハンドボール協会をはじめとする関係者の皆様方に厚く御礼申しあげます。また、山口県協会、中体連や高体連の先生方からのご指導とご支援があったからこその優勝です。これまでお相手してくださった指導者の先生方、選手の皆様、本当にありがとうございました。

平田中学校では、４年前から男女のチームを指導するようになりました。物理的・時間的には困難さを感じることも多いのですが、メリットもたくさんあります。男子には女子の細やかな取り組み方を学ばせることができますし、女子には男子のプレーをモデルにして技術を高めさせることが出来ます。何より、勝利に向けてお互いが切磋琢磨して努力する男女の姿を一番近くで見ることの出来る私自身が一番勉強になっています。チームそれぞれの特長を伸ばすために、指導技術をさらに高めなければいけないと反省する毎日です。

今回の大会では、全国から集まった各チームの素晴らしい技術、強い精神力をもつ選手たち、そしてそれらを鍛えてこられた指導者の皆様から多くのことを学ばさせていただきました。とくに基本技術が確立しているチームの戦い方から、今後の指導に多くのヒントをいただくことができました。女子の決勝戦は延長戦に突入し、気の抜けない精神戦になりましたが、プレーする選手、ベンチを預かる指導者にとってはその試合の一秒一秒が他では得難い鍛錬の場になりました。

女子だけでなく男子も接戦が続きましたが、この素晴らしい大会で一日でも長く試合をしたいという思いをもって戦いました。地域サポーターの皆様の温かいご声援、大会役員の方々のホスピタリティ、交流試合を切り盛りしていただいた関係者の皆様方には感謝の気持ちで一杯です。参加させていただくだけでも有り難いと感じる大会において、男女で優勝できるとは信じられない結果です。しかし、この男女のチームには次なる目標があります。今大会で勉強させていただいたことを胸に、目の前の選手たちと真剣に向き合い、ともに学び合っていきたいと思います。これからも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

岩国市立平田中学校 男子ハンドボール部主将　村上　涼

この度、春の全国大会で優勝できたこととても嬉しく思います。僕たちはとても仲が良く、小学校の頃から一緒にプレーする人も多くいます。だから一人ひとりのプレーに対して、自然に合わせることができました。さらに先生方からアドバイスをもらって、自分たちでも工夫しながら色々なプレーに結びつけてきました。しかし、練習試合などで相手チームのエースにあたりきれないことや、一人ひとりに声かけができていないことがあり、それがチームの反省点でした。そこで、自分たちの目標を考え直しました。毎日の練習を一生懸命取り組むという当たり前のことをみんなで決めました。練習の目的を意識することで、お互いに声をかけ合うようになり、次第にチームがまとまっていくのを感じました。そして県予

選ではいくつもの山場を乗り越え、勝つことができました。

そして迎えた全国大会。入場行進の時に、とても大きな選手が多いことを知り圧倒されました。でも僕たちは去年出られなかった先輩たちの分まで頑張りたいという気持ちがありました。だから一戦一戦集中して、練習の成果を発揮することができました。そして全国のハンドボーラーの夢である「全国制覇」をつかみとることができました。

僕たちが今大会で一番苦戦したのが、氷見市立北部中学校との試合でした。北部中学校は身長の高い選手が多く、鋭いシュートを何度も決められました。しかし、ディフェンス練習を思い出しながら戦いました。前半は 11 対 8 で勝っていたのに、後半に入ると相手のシュートを防ぎきれず、1 点差まで追いつかれました。タイムアウト時に監督からの「こんなところで負けるのか」という言葉に気合いが入りました。そして、キーパーの好セーブもあり、流れを再びつかむことができたので何とか勝利することができました。

決勝戦は氷見市立西條中学校でした。開催地代表校ということもあり、会場の大歓声に呑まれそうになりましたが、全員ハンドでプレーし、優勝を飾ることができました。最高の仲間と一緒に喜んだあの瞬間は絶対忘れません。優勝できたのは、毎日熱心に指導してくださった藤髙先生、いつもいっしょにいてくれた佐藤先生、支えたくれた舩戸先生と末廣先生、そして今まで僕たちをずっと見守り支えてくれた家族のお陰です。本当にありがとうございました。

岩国市立平田中学校 女子ハンドボール部主将　横田 希歩

今回、春の全国中学生ハンドボール選手権大会で優勝することができたのは、私たちにとって、とても良い経験になりました。

大会前、私たちは声も出ていなくて、お互いへの声かけ、チームメイトのミスを厳しく注意することができないチームでした。そんな雰囲気のまま、県内で行われた大会で春中予選会で勝てたチームに負けてしまいました。それから、「自分たちはこのままではいけない」と実感し、まず練習の雰囲気から自分たちで変えていこうと話し合いました。すぐに出来ることから始めようと、声を出すことにしました。声かけが出来るようになってくると、自分たちの欠点が見えてきました。その欠点をどう直すか、自分たちで改善が出来るようにもなりました。

待ちに待った全国大会の初戦は優勝候補の平針中学校との対戦になりました。ミスのない正確なハンドボールでとても苦戦しましたが、チームワークを武器に何とか勝つことができました。しかし、まだまだ私たちにはミスが多く、正確な技術をもつ平針中からは学ぶことがたくさんありました。その後も苦しい試合が続きましたが、一戦一戦仲間を信じ、「勝ちたい」という気持ちをもって臨みました。

そして迎えた決勝戦、相手は 9 年連続出場の伝統校、東久留米西中との試合になりました。正確なサイドシュートに圧倒され、自分たちのハンドボールをさせてもらえず、流れをつかむことが出来ませんでした。しかし、仲間を信じてプレーしていくと徐々に練習してきたプレーを発揮できるようになりました。それでも互角のまま試合は進みました。後は、昨年決勝で敗退した先輩たちの分まで頑張ろうと、ベンチもコートもチーム一丸となってプレーしました。そして、延長の末の優勝。

私たちがここまで成長できたのも、藤髙先生を始めとする諸先生方、一番近くでいつも支えてくださった保護者の皆さん、そして最後まで自分たちの時間を削ってまで練習相手になってくださった先輩のお陰です。感謝の気持ちを忘れず、夏にはまたあの全国大会の舞台で最高の仲間とともに優勝できるように、日々の練習を今まで以上に力を入れて取り組みたいと思います。

戦評

男子

■準決勝

平田 22（12-8, 10-10）18 戸塚

平田のスローオフで試合開始。両チームとも守って速攻のプレースタイル。開始早々、平田 2 番村上のステップシュートが決まるが、立ち上がりは両チームのディフェンスの足がよく動き得点を許さない。前半 12 分戸塚の退場をきっかけに平田 6 番山崎、8 番末岡のカットインシュートが決まる。徐々に平田が攻撃のリズムを掴み 3 連続得点を挙げリードを拡げる。一方、戸塚は GK の交代を行い、立て直しを図った。その後は一進一退の攻防が続いた。

12 対 8、平田 4 点リードで後半開始。序盤は戸塚 GK 黒田が好セーブを見せる。フリースローからのフォーメーションも決まり 2 点差まで追い詰める。しかし、平田もエース 2 番村上を中心にロングシュート、ポストシュートで得点を積み重ね、前半途中から終始リードしていた平田が 4 点差で逃げ切り、初の決勝戦進出を決めた。

西條 37（16-15, 14-15, 5-2, 2-3）35 東久留米西

スローオフの東久留米西は 7 番藤田で先制。西條は 5 番窪田のカットインですかさず同点とするも、東久留米西は 11 番白築の速攻などで前半 2 分で 3 対 1 とリードする。その後両チーム一進一退の激しい攻防で得点を重ねるが、前半 12 分、西條が 5 番窪田のミドルシュートで 9 対 8 と逆転に成功。さらに、9 番中村のポストシュートで 2 点差とする。東久留米西は、3 番遠近、6 番長谷川、11 番白築のサイドシュートなどで追いかけ、西條は 9 番中村の 7mT、13 番前田のサイドシュートなどで逃げる展開が続き、前半は西條が 16 対 15 の 1 点差で折り返す。

後半出だし、お互いに得点を重ねるが、4 分、西條は相手の退場とともに得た 7mT でこの試合初めて 19 対 16 と 3 点のリードを奪う。西條 7 番安平のパス回しに対し、東久留米西は高いディフェンスで応戦。その後 7 分間お互いに得点を重ね、東久留米西は後半 11 分から 3 連取で 24 対 23 とついに逆転、さらに 9 番大畠のサイドシュートで 26 対 24 と 2 点差に拡げる。しかし、後半 16 分、3 点差に拡がるかと思われた東久留米西の速攻を西條の 12 番 GK 井川がシャットアウト。東久留米西に傾きかけた流れを引き戻す。再び交互に得点を重ねたまま時間が経過し、後半 23 分東久留米西は 3 番遠近のループシュートで 30 対 28 と 2 点差とする。このまま東久留米西が逃げ切るかと思われたが、西條は後半 24 分 10 秒に 9 番中村のカットインで 1 点差とし、終了間際に 11 番坂高の左サイドシュートでついに同点に追いつき延長に突入する。

延長前半、東久留米西は 5 番村田のポストで先行するも、西條は 9 番中村、7 番安平などの 3 連取で 33 対 31 とリードする。東久留米西はマンツーマンを仕掛けるが、西條はさらに得点を重ね 35 対 32 で延長前半が終了。延長後半、西條は 7 番安平の速攻でこの試合初めて 4 点差とする。東久留米西は 3 連取で後半 4 分には 1 点差まで詰めるが、さらに 1 点を加えた西條が逃げ切り試合終了。昨年夏の全国大会に続く決勝進出となった。

■決勝

平田 41（22-12, 19-15）27 西條

写真提供：スポーツイベント社

平田のスローオフで前半がスタート。平田は 2 番村上、西條は 7 番安平がチームの先制点を決めた。前半序盤西條は 3-3DF を仕掛けるが、平田はポストを起点としてパスを回し、うまく DF システムを崩しにかかる。平田は、2 番村上、3 番大西、8 番末岡などでポイントを重ねる。西條は、7 番安平、9 番中村でポイントを重ねる。前半 10 分過ぎ、7 対 4 と平田がリードする。両チーム GK のナイスセーブが光り、激しい攻防が展開された。西條は、平田の 2 番村上、3 番大西の身長を生かしたシュートブロックを前に、なかなか DF を崩すことができない。前半 16 分、セット DF からの逆速攻で 3 連取し、平田が 13 対 8 とリードを広げる。前半残り 5 分、4 番藤川、6 番山崎、8 番末岡などの速攻で、怒涛の 7 連取。平田 10 点リードで前半を折り返す。

後半に入っても、平田のペースは変わらず、DF からの速攻やセット OF でポイントを重ねる。西條も 5 番窪田、7 番安平、9 番中村などが果敢にシュートを狙い食い下がろうとするが、相手のパスミス、シュートミスを 3 番大西、6 番山崎が確実に速攻に結び付け、ポイントを積み重ねた平田が、最後まで自分たちのペースを崩さず、点差を 14 点に広げ、41 対 27 でタイムアップ。見事春中初の男女アベック優勝を果たした。

写真提供：スポーツイベント社

戦 評

女 子

■準決勝

東久留米西 32（17-8, 15-11）19 若松

東久留米西のスローオフで試合開始。3番須田のカットインで東久留米西が先制点を決める。若松は速いパスワークからカットインを狙うが、東久留米西の堅いDFを崩すことができず、自陣のミスから速攻を許し、4点差がついたところでタイムを要求した。その後、2番センター山本のミドルシュートが決まり、パスがつながりだすが、速攻を東久留米西のGK佐藤に好守され、流れを引き寄せられない。東久留米西は5番水俣のサイドシュート、7番瀧川のドライブシュートなど着実に得点を重ね9点差をつけて前半を終了した。

後半、両チームミスが続き得点が入らない。若松は3番小沼が速攻からサイドシュートを決め勢いをつけるが、その後は東久留米西の速い戻りに攻め切ることができず、点差を拡げられてしまう。後半に入り、両チーム、ポストを絡めた攻撃が決まりだし、一進一退の攻防となる。若松は2番山本を中心に、4番ポスト伊達が9得点を挙げるなど活躍を見せるが、前半の点差を埋めることはできなかった。東久留米西が安定したDFを最後まで崩さず、終始流れを相手に渡すことなく決勝進出を決めた。

平田 19（11-8, 8-8）16 港川

港川のスローオフで始まった準決勝。先取点は、港川3番銘苅のサイドシュート。港川の3-2-1DFを平田は指令塔2番横田を中心に足を止めずに攻め、シュートへと持ち込む。まだ堅さの見られる港川のミスを速攻につなげ、着実に加点し、7分過ぎには平田が3点リードする。9分過ぎ足が動き始めた港川は、6番真座の粘り強いカットイン、左腕の7番金城のミドルシュートで加点、その後は一進一退の攻防が続き、平田が11対8の3点リードで前半を折り返した。

後半の立ち上がり、港川は、DFをさらに高く上げ、相手のミスを誘う。11番伊波のスピードに乗ったカットインシュートで港川がペースをつかむかに見えたが、平田も高い港川DFの間を攻め、主導権を渡さない。後半15分過ぎ、港川はDFを6-0DFに変え、相手のカットインプレーに対応する。平田は、6-0DFでGKを中心によく守っていたが、そのDFの上から港川7番金城が小気味のいいミドルシュートを連続で決め、21分には、1点差にまで追いつく。その後平田3番亀谷がカットインシュートをねじ込み再びリードを広げ、残り時間が少なくなり、高く上がった港川DFの隙をついて2番横田がステップシュートを決め、決勝進出を決めた。

■決勝

平田 25（7-8, 12-11, 3-4, 3-1）24 東久留米西

平田のスローオフで始まった女子決勝。開始早々、平田10番の岡田がボールカットからの速攻を決め先取点を上げた。その後、平田2番横田のカットインシュートや6番櫻木のサイドシュート、東久留米西8番村井の速攻や2番阿部のロングシュートなどで点を取り合った。両チームともにディフェンスの足がよく動いており、攻撃のリズムがつかめないまま、7対8というロースコアで一進一退のゲームが続いた。

写真提供：スポーツイベント社

後半の立ち上がり、東久留米西は7番瀧川のロングシュート、5番水俣の連続得点で3点差とリードをひろげ、流れをつかもうとした。平田も鋭いフェイントからディフェンスの間を攻め、7mTから得点を重ねるなど、必死にくらいついていった。11分を過ぎて平田2番横田からポストへのパスが通りはじめ、流れは徐々に平田の方へと変わっていった。15分過ぎにフォーメーションから6番櫻木のシュート、18分過ぎに2番横田のロングシュートが決まり、ついに16対16の同点となった。終盤、両チームに退場者が続出するが、両チームともに粘り強いディフェンスをし、19対19の同点で延長戦に入った。

第1延長は平田が退場者2名、東久留米西が退場者1名という状態で始まった。両チームの足の動きはさらに良くなり、平田3番亀谷、東久留米西3番須田のカットインからのシュートなど、狭いスペースを鋭く抜くナイスシュートが見られた。延長前半は22対23で東久留米西が1点リードで折り返した。

延長前半の途中から東久留米西は平田2番横田にマンツーマンディフェンスをしかけていたが、延長後半、平田2番横田がフリースローからのロングシュート、自らのボールカットからの速攻、ステップシュートと3連続得点を上げ、25対24と逆転し、試合を決めた。平田2番横田は11得点を上げる大活躍であった。

両チームともに最後まで足の動きを止めることなく、それぞれのチームの持ち味を十分に発揮した、決勝にふさわしいナイスゲームであった。

Photo Snap

第９回全国中学生ハンドボール選手権開会式から

氷見では第1回から来年度の第10回迄の10年間開催される。ふれあいスポーツセンターフロアーには第1回からのプログラムが一括掲示されている。

昨年度優勝校の男子大分県：大分中学、女子神奈川県：西中原中学が先陣を切っての入場行進が始まる。

各県代表チームは北から南の順に、男女揃っての堂々とした入場行進が展開される。

氷見市マーティングバンド「ムジカグラート氷見」は息の合った演奏サポートで開会式を盛り上げる。

全国の予選を勝ち抜いた男女 92 チームが一堂に会しての開会式は圧巻である。

（公益財団）日本ハンドボール協会会長・渡邉佳英会長より開会の挨拶がされる。

この大会の中から、2019 年の代表選手が選ばれる期待を込めて…後、５年後に迫る。

昨年度優勝校から優勝旗・優勝杯の返還がされる。

ご自身もハンドボール選手でもあった本川氷見市長から、歓迎の言葉が熱く語られる。

氷見北部中学、女子主将・竹内万生さん（写真・左）、男子主将・朝野翔一朗さんが、大会に懸ける思いを込めた選手宣誓の大役を務める。

第11回
東アジアハンドボールクラブ選手権

【日　　　程】 2014年4月25日～28日
【場　　　所】 中国　重慶市万州区　競技場名：The Three Gorges star Stadium
【参加チーム】 男子：江蘇省（中国），山東省（中国），斗山（韓国），大同特殊鋼（日本）
　　　　　　　 女子：上海（中国），安徽省（中国），三陟（韓国），オムロン（日本）
【試合方式】 1回戦総当りのリーグ戦方式

男子星取表

順位		斗山	江蘇	大同	山東	数	勝	分	敗	得点	失点	差	点
1.	斗　山（韓　国）	＼	28 ○ 21	35 ○ 31	28 ○ 19	3	3	0	0	91	71	20	6
2.	江蘇省（中　国）	21 ● 28	＼	33 ○ 30	35 ○ 32	3	2	0	1	89	90	-1	4
3.	大同特殊鋼（日　本）	31 ● 35	30 ● 33	＼	29 ○ 23	3	1	0	2	90	91	-1	2
4.	山東省（中　国）	19 ● 28	32 ● 35	23 ● 29	＼	3	0	0	3	74	92	-18	0

※勝敗（○△●）の上が得点、下が失点を表す。

女子星取表

順位		三陟	オム	安徽	上海	数	勝	分	敗	得点	失点	差	点
1.	三　陟（韓　国）	＼	28 ○ 25	33 ○ 24	25 ○ 15	3	3	0	0	86	64	22	6
2.	オムロン（日　本）	25 ● 28	＼	32 ○ 23	32 ○ 13	3	2	0	1	89	64	25	4
3.	安徽省（中　国）	24 ● 33	23 ● 32	＼	30 ○ 21	3	1	0	2	77	86	-9	2
4.	上　海（中　国）	15 ● 25	13 ● 32	21 ● 30	＼	3	0	0	3	49	87	-38	0

※勝敗（○△●）の上が得点、下が失点を表す。

●イベント
・表彰
・記念式典
・各種セミナー
・各種パーティー
・国際会議

●業務渡航
・海外航空券手配
・海外ホテル手配
・査証手続き
・トラベルサポート

●教育・研修旅行
・修学旅行
・語学研修
・ホームステイ
・各種体験学習
・ゼミ・各種合宿

●団体旅行
・社員旅行
・インセンティブ旅行
・視察旅行・研修旅行・海外スポーツ遠征
・国内スポーツ合宿
・貸切バス・周年旅行

●訪日外国人旅行
・公官庁主催招聘プログラム手配
・訪日されるお客様に合わせたプラン

株式会社 エモック・エンタープライズ
観光庁長官登録一種旅行業1144号（社）日本旅行業協会（JATA）正会員
●東京本社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-19-3　第2双葉ビル2F　TEL 03-3507-9777　FAX 03-3507-9771
●大阪支店
〒541-0047　大阪市中央区淡路町4-3-8　タイリンビル7F　TEL 06-6203-7999　FAX 06-6203-7991
http://www.amok.co.jp/

男子 大同特殊鋼

第11回東アジアクラブ選手権大会報告

大同特殊鋼ハンドボール部監督　末松　誠

2014年4月25日から4月28日、中国・重慶で第11回東アジアクラブ選手権大会が開催されました。今回で11回目になるこの大会は日本、韓国、中国の3ヵ国の代表クラブチームが試合をして東アジアのチャンピオンクラブを決める大会です。大同フェニックスも3月に行われた日本ハンドボールリーグプレーオフで日本一になり、日本の代表クラブとしてこの大会に参加させて頂きました。

今回は中国での開催ということで中国から江蘇省、山東省の2チーム、韓国から斗山、日本から大同特殊鋼の4チームの総当りで試合を行いました。

昨年も今大会に出場させて頂きましたが、まだ一度も優勝したことはなく、また韓国のクラブチームに勝ったことがない為、「初の東アジアクラブチャンピオン」になるという目標を持って今大会に臨みました。

第1戦目は、昨年の東アジアのチャンピオンチームである韓国のクラブチーム斗山との試合でした。立ち上がりサイドシュートで確率良く得点することで、リードをすることができましたが、そこから韓国チームの個人技で連続得点され逆転を許してしまいました。その後もリードを追う展開が続きましたが、中盤の勝負所でのイージーミスやシュートミスが響き、31対35の4点差で大事な初戦を落としてしまいました。

第2戦目は、中国№1のクラブチームである江蘇省との試合でした。CP 6人が190㎝以上の選手が揃っている大型チームである為、いつもよりDFラインを上げて簡単にDSを打たせないようにチームで統一して臨みました。

立ち上がり江蘇省の高さを活かしたOFに苦しみ、相手にリードを許してしまいました。OFでも相手の高さのある6：0に対してなかなか得点することができず、苦しい時間帯が続きました。試合を通してプレスDFで相手にプレッシャーをかけて、FBで得点を重ねて追い上げますが、30対33と2連敗を喫してしまいました。

第3戦は中国№2の山東省との試合でした。立ち上がりプレスDFが機能してFBで確率良く得点をしてリードを保ちましたが、終盤セットOFでのミスをFBに繋げられ追い上げられました。しかし、プレスDFで相手にプレッシャーをかけ続け、相手のミスをFBに繋げて、最終的には6点差で勝利を収めることができました。

韓国のスピード、フットワーク力、中国の高さやフィジカルの強さ等を事前に映像を見て、チームで統一して練習をして臨みましたが、試合の中で相手の特徴に対応しきれず、修正することができませんでした。常日頃の練習から色々な状況を設定して練習することで、どのような環境や相手と試合をしても選手が本来持っている力を100％発揮できるようにこれから選手を育成していかなければいけないと課題を感じました。

3位と決して満足のいく結果ではありませんでしたが、今回の大会で出た反省を今後のチーム作りに活かし、また来年この場に戻ってこられるように日々の練習に精進して取り組

ベストセブンに選ばれた加藤富士選手

んでいきたいと思います。

最後になりますが、大会に出場するに当たりご尽力頂きました日本協会、また関係者の皆様には心よりお礼申し上げます。今後とも大同特殊鋼フェニックスへのご支援、ご声援宜しくお願い申し上げます。

第11回東アジアクラブ選手権に出場して

大同特殊鋼ハンドボール部主将　岸川 英誉

4月25日～28日に中国の重慶で開催された第11回東アジアクラブ選手権に日本のクラブチームを代表して、大同特殊鋼が出場させて頂きました。

東アジアクラブ選手権を戦うにあたって、日本を代表するチームであることの自覚と責任を持ち、韓国･中国に勝利し、優勝することを目標に今大会へ臨みました。しかし、結果は韓国代表チームの斗山、中国代表チームの江蘇省に敗北してしまい、最終試合の山東省には勝利して1勝することはできましたが、3位という不本意な結果に終わりました。

まず韓国代表チームである斗山との試合で感じた事は、相手のセットOF、速攻でのスピード、プレーの正確さや個人のテクニック・能力の高さを痛感させられ、DFで守る事が出来ず高確率で得点を許してしまいました。大同もセットOFで効果的な得点を取り、DFで組織的に守ることが出来た時間もありましたが、勝負所でのミスが響き初戦を落としてしまいました。

次に中国代表2チームとの試合で感じた事は、ヨーロッパクラスの高さやパワーというフィジカルを持っている事、さらに以前よりもテクニカルミスやシュートミスが少なくなりプレーの精度が上がってきているように感じました。大同のプレスDFに対し走り込んでプレーされ、身体で押し込まれるようなケースが多く退場や失点を許してしまい、試合を通して流れを掴む事ができませんでした。

今回の東アジアクラブ選手権では3位という悔しい結果に終わりましたが、全試合を通して、韓国・中国に勝つ為には、メンタル・フィジカル・テクニック・スピード全てにおいて今まで以上に個の強化をしてチームの底上げをしていかなくてはならないと感じました。

最後にこの大会にご協力いただいた関係者の方々へ感謝申し上げるとともに東アジア選手権優勝を目指してこれからも頑張ってまいりますので、今後ともご声援宜しくお願い致します。

女子 オムロン

第11回東アジアクラブ選手権について

オムロンヘッドコーチ　黄　慶泳

大会の準備について

日本リーグのプレーオフが終わってからチームは高校生又は大学生との合宿、練習ゲームを通して基本の確認と土台作りに取り組んでまいりました。勝つための戦法から離れてチームのベースである基本からもう一度強化する考えでいましたし、毎年一年間戦う上でその時期が一番大事な時期でもあります。

代表合宿を挟みながら、大会の直前には一年間戦った戦術をもう一度確認し、情報は不十分でありながらも対戦相手のイメージを共有して大会に挑むことにしました。

戦うポイントとして、韓国に対しては、激しいプレスディフェンスに対する攻撃方法の理解、個人技を徹底した組織的な守りで防御することを共有しました。中国に対しては、長身を利用した低い守りに対する攻め方の理解、攻撃的な守りから相手のパワーを前線で封鎖するイメージで戦い方を共有しました。しかし、イメージはあったとしても、実際に大型選手との試合感覚が最近ない中で国際大会出場となることから、立ち上がりの判断と早い時間帯での修正が勝つための条件であるとチーム内で共有しました。

試合結果

■第1戦（敗）　対三陟（韓国）　25（11：12）28

試合前のミーティングポイントとしては、相手の守りはPVがいない所が高く上がって変則的な守りをしていること、PVを絡みながら2対2の崩しから個々の1対1突破による攻撃の展開をしていることを確認した。何よりも国と国のプライドをかけた戦いであることを共有して試合に挑んだ。

結果としては、終盤逆転負けの試合運びとなって、日本の今までの国際試合を象徴するような戦いとなってしまった。前半2点リードしているところから逆転での折り返し、後半終盤に2点リードしているところからのゲームマネジメントミスからの失速。痛い負けを経験しながら個の強化（スキル、試合マネジメント力）が必要であることを再度認識した。

■第2戦（勝）　対安徽省（中国）　32（21：11）23

試合前のミーティングポイントとしては、攻撃は相手の大型守りを左右大きく揺さぶりながら瞬間的に広くなったスペースを使うこと、守りは前線でプレッシャーをかけながらよ

り攻撃的に守ることを確認した。

結果としては、前半から大きくリードして危ない局面は無かった試合展開であったが、課題として、大きいGKに対して角度が無い中で圧倒的にポジショニングされた時にはシュートに失敗するケースが多くあったことであった。

韓国戦も含めて2試合共にシュート力の強化が大事であると再認識している。

■第3戦（勝） 対上海（中国）

32（19：7）13

試合前のミーティングとしては、コンパクトな6-0スイッチの守りから相手のブレイクスルー攻撃を重点的に守ること、速攻につなげるときはクロスプレーを導入すること、攻撃は相手の3-2-1守りに対してアウトスペース攻めとライン際の攻めを確認した。

結果としては、前半立ち上がりから相手を突き放す試合展開から若手を起用する余裕のある試合展開となった。

今後の取り組みについて

東アジアクラブ選手権を準備する時から相手のイメージはあるものの、予想通りに実戦での対応が遅れているところがありました。特にシュートは大型GKが良いポジショニングをしたときは、シューターが有利な状況にも関わらずGKの体にぶつけるケースが多くありました。

また、守りに関しては1対1を詰めていて国内ではフェイントに切り替えていたのが、海外では上からシュートを打ってくるので、そこの対応がディフェンダーとGKが両方戸惑うところも多くありました。

ベテランの代表組の選手は上記の内容はクリアできていたとしても、若手の選手は対応ができないケースが多くみられたことが今後のチーム一番の課題であると認識しています。

ベストセブンに選ばれた相澤莉乃選手、藤井紫緒選手

いずれにしても、全ての局面において個々のレベルアップは欠かせないことで、若手に戦術、戦略に対する理論をしっかり植えつけることがもっとも大事であると認識していますし、今後はそこから丁寧に取り組んでまいりたいと思います。

大会を通して感じたのは、韓国はベテランが相変わらず頑張っていますが、若手がどんどん伸びてきているので、今後も脅威であり続けることが予想されます。また中国に関しては、昨年度4年に一度の国体が終わったことが原因か、今ひとつ盛り上がらなくて全体的にレベルが落ちているような気がします。怪我人も含めて若手の底上げの時期かも知れません。しかし、来年のオリンピック予選にはしっかり照準をあわせて国全体をあげて戦いにくるでしょう。

最後になりますが、この大会に参加するに当たってご尽力、ご支援頂きました皆様には心よりお礼申し上げますと共に、引き続きオムロンチームをご支援、ご声援頂きます様にお願い申し上げまして大会のご報告と致します。

ありがとうございました。

第11回東アジアクラブ選手権に出場して

オムロンキャプテン　藤井 紫緒

4月25日～28日まで中国で東アジア選手権大会が行われました。優勝を目指して挑んだ1回戦は韓国の三陟との対戦、入り方は良くスタートから流れを掴む事ができ、一進一退の攻防が続きました。何度かリードを奪う場面もありましたが、なかなか離せずその度に退場者が出てしまい、その間に点差が開かないよう粘りましたが、最後の残り5分で逆転

され25対28で初戦を落としました。

上の順位を目指すべく挑んだ2戦目は中国の安徽省との対戦、最初の10分は相手キーパーに止められなかなか得点を重ねることができませんでした。しかしキーパーのタイミングを崩す事に成功し、徐々に自分たちのペースを掴み一気に得点を重ね、32対23で勝利しました。

休息日を挟んで挑んだ最終戦は、中国の上海との対戦、相手の高さを活かしたポストシュートなどで得点を取られたものの、足を使った堅いディフェンスから速攻で着実に得点を重ね32対13と2位で今大会の幕を閉じました。

課題として、自分達のミスから相手の速攻、また意表を突いた相手の攻撃に対応できていない場面が多々ありました。大きい相手に対して日本の持ち味であるスピードで相手を揺さぶり得点に繋げた場面も多くあり、課題も多く出ましたが次に繋がるプレーもいくつか出ました。また、交代して入る選手の向上もあり、優勝はできなかったものの、良い経験ができた大会だったと実感しています。日本の代表チームとして出た経験と今大会で得たものをこの場で終わるのではなく、次の試合に繋げていけるよう更に努力して参ります。

最後になりましたが、今大会にあたりご尽力いただきました協会関係者の方々、応援していただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

[帯同審判員による] 東アジアハンドボールクラブ選手権報告

臼井　健

2014年4月に中国（重慶市）にて行われた、東アジアクラブ選手権に審判として参加いたしました。国際審判員としての資格を取得して以来、海外での吹笛経験が無かった私にとって、初の海外での大会となりました。去る2012年6月に愛知県で行われたジャパンカップにも参加いたしましたが、この大会では日本と海外のハンドボールの違いや、国際ゲーム独特の雰囲気に対応することができず、大変苦い経験をしました。今大会はその反省を生かし、前回のような失敗をしないよう臨みました。

今回、私たちは「強さ」をテーマに大会に臨みました。海外の審判は「強さ」を持っていると感じています。前回の失敗は私たちに「強さ」がなかったことに原因があると感じました。そのため「タイミングを逃さずに強い笛を吹く」ということに集中しました。

特に、大会2日目、3日目の中国vs韓国（男子）の対戦では前述のような「強さ」が求められる結果となりました。双方ともに、日本国内では見ることのできないハードな身体接触や、クレバーなプレーが多々見られました。そのため我々審判が「強く」笛を吹き、存在感を「強く」示すことが求められました。また、中国のIHF審判からは「文句を言われたら、イエローカードを出せばいいんだ」というようなアドバイスをもらいました。日本は審判に対するクレームに寛容すぎるのか、と感じました。そういった部分からも審判員としての「強さ」が求められていると感じました。

今大会を通して、全てが成功に終わったわけではありませんが、大変貴重な経験ができました。テーマにしていた「強さ」もある程度表現できたと思います。大変な経験もしましたが、その分、得られたものも多かった大会でした。

最後に、今大会に参加するにあたって、応援して下さった職場の方々、また普段から指導していただいている藤井審判長を始めとする諸先輩方に感謝申し上げ、今回の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

河合 威廷

4月25日から28日までの4日間にわたり、第11回東アジアクラブ選手権大会が中国の重慶市満州区で開催されました。参加国は男女ともに日本（1）、中国（2）、韓国（1）の3カ国からなり、計4チームずつで行われ、日本からは大同特殊鋼（男子）、オムロン（女子）が参加しました。そして、私たち審判員は日本（1）、中国（3）、韓国（1）の計5ペアが参加しました。また、中国3ペアのうち2ペアは女性であり、20代30代ととても若い審判が参加していました。

ペアの臼井と海外で審判をすることは、今回が初めてでした。そのため、不安はたくさんありましたし、失敗も覚悟していました。しかし、そんな中でもチャレンジする気持ちは忘れずに大会に臨みました。特に意識したことは、試合中に選手やチーム責任者とコミュニケーションをとることでした。最初は相手にされずにスルーされたりもしましたが、積極的にコミュニケーションをとることによって、円滑に試合が進むようになったり、過度のアピールに対しては毅然とした態度で臨むことで、信頼を得ることができ、お互い笑顔でコミュニケーションをとれるようになりました。

また、海外の選手は体が大きく男子だと2m、女子でも180cm以上の選手が何人もおり、尚且つプレイスタイルの違いもあったせいで、位置取りがとても難しく感じました。近づきすぎず、遠すぎず。時には、センターラインを超える位置取りをしなくてはいけない時もありました。そんな中でも常にボールと選手が見える位置をとるようにし、ペアとのコンタクトをこまめに行い、役割分担を徹底しながら審判をしていました。

今大会で、日本の男子は3位、女子は2位という結果に終わってしまいました。海外の選手は技術力が高く、また身長がとても高く感じました。もちろん技術力は日本も見劣りしていませんでしたが、海外選手のスケールの大きさは日本よりも高いように感じられました。

今回、東アジア選手権大会に審判として参加し、国内では味わうことのできない経験をたくさん得ることができました。この貴重な経験を生かし、これからも国内・国外ともに活躍していきたいと思います。

私たちは、ハンドボールを応援しております！

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方の将来設計において、不動産を用いた資産づくり・将来的な安定収入を得ていただくご提案をさせていただいております。
一般の不動産の販売会社と違ってお客様と私共の関係に重きをおき、より深い信頼関係を築けるよう心がけております。単に、お客様と営業マンの関係ではなく、お客様ご自身・ご家族の人生にとって大切な場面で出会えたという事を感謝し、『家族』の様な絆を持てる存在となる事が何よりの目標です。

代表取締役　青木 理恵

http://yurika-co.jp/

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202

TEL：03-3525-8986 / FAX：03-5295-8188

4月12日、日本協会は都内で常務理事会を開き、2016年リオデジャネイロ五輪出場を目指す男子日本代表の新監督に日本体育大学監督の松井幸嗣氏（56）の就任を決めた。日本男子は今年1～2月のアジア選手権で過去最低の9位と惨敗し、清水前監督が辞意を固めていた。

松井新監督は2004年から06年までも男子代表監督を務めており再登板となる。5月上旬、ANTC（味の素ナショナルトレーニングセンター）にて日本男子合宿中の松井新監督に話を伺った。

2004年から2006年に掛けて代表監督をされておりましたが、今回2度目となる就任となった現在の心境について伺います。

本当に急遽の話でした。前監督の清水氏が継続されていれば、U-21の監督を引き受ける予定でしたが、代表監督の選考となり強化委員の一員でもあり対応を検討しておりましたが、最終的には自分が引き受けることになりました。4月に入ってからの話であり、大学教員としての本業の職務はそのままであり、合宿の日程などについても出来る限り支障を来たさない中での活動を目指します。と言っても、中途半端な気持ちで引き受けたわけではありませんので、代表監督としての職務は全うして行きます。

4月14日の就任記者会見で言われたキャッチフレーズ「早くて速いハンドボール」どのような中身ですか。

先ずは、パス・シュート・フェイント・ドリブルなどの判断力を早くすることです。更には、ボールを持っての走るスピード、プレイのスピードを上げげたハンドボールを目指します。

2020年には東京オリンピックも決まりましたが、これに向けての今後の道筋と戦い方について伺います。

2020年の東京開催が注目されていますが、2016年のリオ・オリンピックが大事です。

リオに出場して、更に東京オリンピックへと繋げて行きたいと考えています。2015年秋頃にはアジア予選も控えていますが、最も大きな目標になると思います。スローガンに掲げた「早くて速いハンドボール」、速攻を中心とした攻めのハンドボールを定着させて行きたいです。アンダー世代から、日本の戦い方としてスピードのあるハンドボールを展開し、これを更に実践していかなくてはなりません。又、守りも受身的なデフェンスでなく、一線であっても前に出て勝負し、相手にプレッシャーを掛けたアグレッシブなディフェンスをしていきたい。

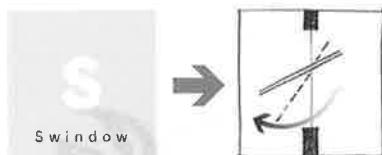
10年前と現在の韓国、中東勢をどのように見ておられますか。

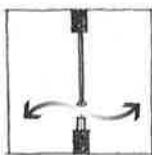
韓国は先のアジア選手権で5位となり世界選手権出場を逃していますが、9月のアジア競技大会が地元であり、建て直しを図っているでしょう。又、中東勢は、10年前には所謂「中東の笛」がありましたが、現在は欧州からの帰化選手やコーチを招聘し、顕著な強化が進んでいます。何れにしろ手強い相手となるのは間違いありません。

代表選手の選考と最終代表への絞込みについてのお考えは。

私の目指すハンドボールをきちんとできる選手、走れる選手を選んで行きたいと思います。従って、国内で活躍中の選手が必ずしも選ばれるわけではありませんが、18名程度へ

『呼吸する建築』

『ナビ ウインドウ 21』 NAV WINDOW 21

Swindow スウィンドウ

Wincon ウィンコン

Cavcon キャブコン

三協立山株式会社 三協アルミ社 営業開発部 〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル18F TEL(03)5348-0360 http://www.nav-window21.net/

選手を集めてのミーティング

の絞込みを行う予定です。久々、代表候補復帰の宮崎大輔選手の動きも以前に戻っていると見ています。

代表選手個々人に求めたいことはどのようなことでしょうか。

日本代表選手としての自覚をきちんと持って欲しい。やる気の無い選手は要らないし、代表選手としてメダルを目指す気概で取り組んでもらいたい。更には、監督・コーチからの指示を待つ選手でなく、選手自らの話し合いや、行動を期待したい。コート上でプレイするのは選手であり、大事な最終場面では選手間のコミュニケーションが大切になってきます。小学生やジュニア世代も関心を持って代表選手を見ています。日の丸を背負った日本代表選手としての、様々な場面での自覚を求めたい。

直近の広島国際大会に向けての対応は如何ですか。

準備期間も十分でないなか、チームとして初めての試合となりますが、やってきたことが何処まで通用するか楽しみです。韓国も体制を整備して取り組んでくるでしょうが、9月のアジア競技大会、そして、アジア最終予選に照準を定めているでしょう。

ジュニア世代に期待することがあればお願いします。

パス、キャッチ、シュート、走りの緩急などの当たり前の基本プレイを、当たり前に出来るようにお願いしたい。勝敗を決する場面の多くは、これらのミスによる敗因が多々あります。

速攻での3歩ダッシュ、緩急強弱をつけた走り、代表選手の中にも同様の課題があり、日々の練習のなかで、意識を持って励んで欲しいと考えます。そうすれば、やがて代表選手に選ばれる日が来るかもしれません。頑張ってください。

最後に、ハンドボール関係者、ファンに一言お願いします。

皆さんの期待はオリンピックでのメダル獲得にあると思います。目標を達成できるように、代表選手一同頑張ります。今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願いします。

（注）当面の日本男子代表の公式試合予定としては、9月の第17回アジア競技大会韓国・仁川がある。

（参考）アジア競技大会の日本の戦績
アジアオリンピック評議会（OCA）が主催する、「アジア版オリンピック」略称で「アジア大会」と呼ばれる。

開催年	開催国	優勝国	日本の成績	参加国数
1982年	インド：ニューデリー	中国	2位	8
1986年	韓国：ソウル	韓国	3位	6
1990年	中国：北京	韓国	5位	5
1994年	日本：広島	韓国	2位	6
1998年	タイ：バンコク	韓国	3位	8
2002年	韓国：釜山	韓国	4位	9
2006年	カタール：ドーハ	クウェート	6位	15
2010年	中国：広州	韓国	3位	11
2014年	韓国：仁川			

ハンドボールスキルアップシリーズ
目からウロコのシュート術
スポーツイベント・ハンドボール編集部 著
B5判　176ページ　2,000円+税　ISBN978-4-86512-027-1

月刊誌『スポーツイベント・ハンドボール』の大人気連載「スキルアップシリーズ」から、ハンドボールのシュートテクニックに特化して抜き出し、編集・大幅加筆したテクニカルブックです。一流のプレーヤーはここまで考えてシュートを打っているのか、と「目からウロコ」が落ちること必死の1冊です。

株式会社グローバル教育出版 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 TEL:03-3253-5944 FAX:03-3253-5945

ヨーロッパのハンドボールLIFE

デンマークでのハンドボール留学

琉球大学　田中良政

2012年の8月から2014年の3月末までデンマークへ選手としてハンドボール留学をしてきました。昨シーズンは3部のチームでプレーをして、今シーズンは2部のチームでプレーをしてきました。切っ掛けは、友人に教えてもらったハンドボールのブログ（AY-COPENHAGENハンドボール化するサッカー吉村晃さん　現豊田合成ハンドボールチーム）で海外へ挑戦する気がある人がいるのなら短期留学の受け入れを考えているとの記事を見てメールを送ったことからです。それからデンマークのハンドボールにのめり込み、あっという間に2年弱の時が過ぎました。大学3年生の3月、ハンドボールをレベルの高い場所でプレーしてみたいという思いがありながら、どうしたら良いのか分からず乗り気ではない就職活動を続けていたあの時、あの記事を見ていなければ、今回の挑戦は無かったと思います。

私の海外への気持ちは、中学生の頃、田場裕也選手が特集されているテレビ番組をみたときに芽生えました。母に『お母さん僕も海外へ行ってハンドボールをするよ！　高校にはいかない！』と言ったのを今でもはっきりと記憶しています。結局は高校、大学と進学しましたが、自分の中ではずっと「いつかは海外に行ってプレーしてみたい、行って新しいものに触れたい」という気持ちは消えることはありませんでした。日本の実業団でプレーをできないか試行錯誤していた時期もありましたが、日本でハンドボールをする方法を模索すればするほど、一度は本場の地へ飛び込みたいという気持ちは強くなっていきました。ですから、あの記事を見たときは「これにかけるしかない」という思いですぐに飛びつきました。

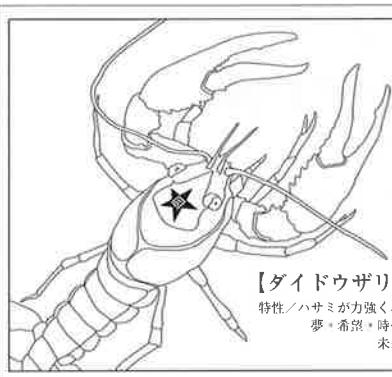
デンマークへいった当初は、言葉の壁にぶつかり、コミュニケーションの取り方、文化の違い、食の違い、全てに戸惑いながらの生活でした。ハンドボールをうまくなりたいという気持ちだけで旅立ったので、ほとんど準備しておらず、行き当たりばったりの挑戦になりました。そんな私でも、本当に多くの人が助けてくれたおかげで、日本に対する寂しさを感じることなく自分の人生で一番充実した日々を過ごせました。

この経験は今の自分を本当に大きく成長させてくれました。向こうでは苦労する事も多かったですが、あの時の選択は正しかったと日々感じています。

私はデンマークで学校に通って生活していました。そのことも私の生活を充実させてくれた大きな要因の一つです。高校を卒業していれば誰でも入れるこの学校の存在をもっと早く知っていればよかったと思っていますし、ハンドボール留学を考えている若い選手には適した場所だとも思っています。ここで宣伝も兼ねて学校について紹介したいと思います。（学校のホームページも最後に記載してあります。サッカー選手も同様に留学できます）

この学校は全寮制で、生徒の人間性を成長させるのを目的として建てられたデンマーク独自の学校です。学校の理念としては、勉強では知ることのできない人とのつながりの大切さを、生まれや育ちが違う生徒たちが寝泊まりを共にすることで身に着けていくというものです。テストなどの勉学をさせる事はなく、スポーツ、芸術、アウトドアなどを通して生きるために必要な力を身につけていきます。朝昼晩の食事付きなので食べる事には心配はいりませんでした。朝7時頃に起きて朝食をとり、スポーツの授業や、一般教養の授業などを受けて、だいたい3時頃にはフリーの時間になります。私はそれからクラブの練習に参加していました。

少し授業の内容についても紹介します。私が受けていた授業で特に印象に残っているのは、ハンドボールアカデミー、デニッシュチームコーチングクラス、デニッシュクラスです。

ハンドボールアカデミーは主にデンマーク人、イギリス人、カナダ人のハンドボールプレーヤーと4人のコーチとで成り立っているハンドボールの授業です。チームという形ではなく選手個人の技術を上げていくというのが狙いです。イギリスとカナダは若いハンドボールプレーヤーを母国のクラブを通してこの学校に送っているとのことでした。この授業は週に4回インコートでの練習があり、週に1回教室でハンドボールの講義が開かれます。コーチのレベルは非常に高く、元デンマーク代表で現役の頃はヨーロッパ中のビッククラブでプレーしていたという経歴の現在スーパーリーガのコーチも兼任されている方、同じくデンマーク元代表で一部女子のコーチでありながら、スイスの男子代表コーチを兼任されている方、スーパーリーガのスーパーアドバイザーとしてそのクラブのトップに就任されている方々が実際に質の高い最先端の練習をしています。ま

た近くで大きな試合があるときは無料で学校からチケットが支給されます。このように選手たちはレベルの高いハンドボールに常に触れることができます。特に今回はヨーロッパ選手権がデンマークで開催されたこともあり、この授業を受講している生徒のほとんどが試合の統計係として試合の最前列に座りながら、この大会に関わりました。私にとっても非常に刺激になることが多かったです。

デニッシュチームコーチングクラスは、コーチングとは何かを実際にさまざまな状況で体験しながら考えていく授業です。常に４～５人のグループを作り簡単なゲームをして、チームをよくするためにはどうしたらいいのか話し合います。印象に残っている講義は、性格分析をして自分がどんな人間なのかを理解し、その結果を今後の人生やコーチングに生かしていくものです。日本でも２～３回ほど性格分析は行ったことがありますが､その結果は本人に知らされることはありませんでした。ここではそのデータをクラスの生徒全員に公開して自分を含めた全員の性格やタイプを理解していたので、グループ別でゲームをするときに役割分担がしやすく無駄な話し合いの時間がなくスムーズに行うことができました。「自分のタイプにあったことをしていく」という発想と「人の行動が理解できないのはその人が自分とは違うタイプの人間だからだ」という考えが面白く、この講義を受けてから人と付き合うのが楽しく感じるようになりました。そのほかにもリーダーシップについて、意見がぶつかったときの対応方法について､メンタルについて､チームマネージメントについて学びました。日本では学んだことのないことばかりで、しかもそれらが全部資料として形になっているので理論立てて理解することができました。

デニッシュクラスはデンマーク語を学ぶ授業です。先生が毎回２人一組のペアーを作り実際に会話をしながらデンマーク語を習得していきます｡週に一度しかこの授業はありませんが、授業で習得したことがすぐに試せるので、日常会話レベルなら１年で喋れるようになります。

次に私がデンマークでハンドボールを通して何を感じたかを綴りたいと思います。プレーをする環境についてですが、体育館と人々の生活が密着していると感じました。言い方を変えれば人々の生活の中にスポーツがあるといえるかもしれません。練習は誰でも見学ができ、選手の子供がコートに入って遊んでいるなんてこともあります、またデンマークへ行って日が浅いうちは「この人は誰だろう、観客席に座っているけれど、クラブの関係者か？」ということがよくありました。彼らはただ時

上段左端が筆者

間があるから練習を見に来ているだけなのですが、日本ではなかなかないことだと思います。選手たちはそんなことは気にせずに練習しています。試合ではお年寄りから子供までみんなが見に来て応援してくれます。デンマークではビッククラブでない限り、サイドラインと観客席までの距離は１～２メートルほどしかありません。観客席からレフリーへの野次はもちろんのことコートに立っている選手、さらにコーチにまで観客席から応援する声や、野次る声がかなり近い距離で飛び交います。本当に自分の地域のチームが勝つことを望んで応援に来てくれている人々を見て、実際にハンドボールをしなくてもハンドボールに関わっている人の多さに驚きました。

次にデンマーク人の気質についてですが、私は今まで約10チームの練習に参加しましたが、どのチームも温かく受け入れてくれました。海外ではデンマーク人は仲良くなるのに時間が少しかかるといわれていると聞きましたが、私からするとそんなことは一切なく初対面なのにもかかわらず、練習の内容や選手の紹介も丁寧にしてくれました。私の中のデンマーク人はやさしく、陽気でこちらが心を開けばすぐに仲良くなれる国民です。特に試合が終わった後、更衣室に戻りみんなでビールを飲みながら試合の総評を笑いながらしているのも、デンマークならではの光景なのかもしれません。今でも私のことを気にかけて連絡をくれるデンマーク人は私の大切な存在です。

デンマークでは選手の体の大きさや、日本では感じることのできない選手の血走ったプレーを肌で感じ、それに怯えて何もできなくなることも経験し、その恐怖心に打ち勝つ方法も見つけることができました。本当にスポーツに必要なことは何か、生きていくために必要なことは何か､何が正しくて､何が間違っているのかをデンマークでハンドボールを通してたくさん学ぶことができました。この経験を生かして、これからもまだまだ選手としてやっていくつもりです。

【学校のホームページ　http://www.ihaarhus.dk/】

OSAKI

ECOLOGY

限られた資源だから、有意義に使っていきたい。
命あるものたちが共存する地球だから、
快適な環境を守っていきたい。
計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、
ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、
つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社　〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)

【報告】デンマークタレントトレーニング（女子）

日本オリンピック委員会スポーツ指導者海外研修員　高橋 豊樹

みなさんこんにちは。JOC スポーツ指導者海外研修員の高橋豊樹です。5 月 16 日から 5 月 18 日にデンマークの Kolding で開催されたデンマークタレントトレーニング（女子）に参加してきました。今回はその報告をしたいと思います。

タレントトレーニングとは

デンマークハンドボール協会（DHF）において本格的にナショナルチームとしての活動が開始されるカテゴリーは U18 からです。その活動が始まる前の段階（図 1：タレントからナショナルチームのプレーヤーへ参照）で、将来的にナショナルチームの一員となる資質とポテンシャルを持った若年層のプレーヤーを早期に発掘し、育成していく場所がタレントトレーニングです。日本ハンドボール協会のナショナルトレーニングシステム（NTS）を想像して頂けると分かりやすいと思います。

タレントトレーニングはデンマークを東西二つの地域に分割し、16 才と 17 才の選手を対象に合計約 60 人から 70 人を選抜した上で、トレーニングが開始されます。この時、男子と女子は分けられています。

年 4 回開催され、各セクションは金曜日の夜に始まり、日曜日の午後に終了します。それに加えて、4 ～ 5 日間のサマーキャンプが実施されます。このキャンプは通常 6 月あるいは 7 月の初めに予定されています。この集中的なトレーニングキャンプには、ナショナルレベルの選手 60 人、そしてすべてのタレントコーチに加え、U18/19（ユース）と U20/21 代表チーム（ジュニア）の監督が参加し、年代別のコーチ陣の間で意見の交換が行われています。

図 1：タレントからナショナルチームのプレーヤーへ（男子チームを例に）

今回のタレントトレーニングは全 4 回開催されるトレーニングの 4 回目のトレーニングであり、サマーキャンプ前の最後のトレーニングでした。そのため、通常は東西で別れて開催されるトレーニングですが、今回は東西合同開催でした。

スタッフ間の情報交換

タレントトレーニングのスタッフはタレントトレーニング責任者であるジュニア代表監督を中心にエリアマネージャー、3 人のタレントコーチ、ゴールキーパーコーチ 1 人、理学療法士 1 人で構成されています。東西合計 13 人、男女で 26 人のスタッフがタレントトレーニングを動かしていることになります。ちなみに西地区女子のエリアマネージャーは現在私がお世話になっている Bo Rudgaard 氏です。（表 1：タレントトレーニングスタッフ参照）

タレントトレーニングは各グループのエリアマネージャーが計画し、もう一方のエリアマネージャーとジュニア代表監督、ユース代表監督の両方にスケジュールが送信されます。

このエリアマネージャーと 2 人の代表監督の間のコミュニケーションは、トレーニングの目的や焦点を全体で調整してくための重要な作業となります。同時に、毎年恒例のサマーキャンプを計画する際に何が優先されるべきかを決定するための、より強固な基盤を確保します。

サマーキャンプ前の最後のトレーニングは東西 2 つのグループ合同のトレーニングとなります。これはサマーキャンプのために、どの選手を選抜するべきかを決定するための大事なトレーニングとなります。そしてさらに、それはエリア間のより緊密な協力を促進し、それと同時にサマーキャンプの内容を計画するための、コーチ同士の meeting の絶好の機会を与えることとなります。

多くのスタッフが互いに協力し意思統一のできるシステムが確立されており、同時に選手を育成できるスタッフの人材が豊富にいることが伺えました。この年代からゴールキーパーコーチが付いており、ゴールキーパーを教育することの重要性も同時に伺えます。

表 1：タレントトレーニングスタッフ（女子西地区を例に）

タレントトレーニング責任者	Heine Eriksen（U20 女子代表監督）
エリアマネージャー	Bo Rudgaard　（女子代表アナリスト）
タレントコーチ	Pernille Kjær
タレントコーチ	Lars Høgh Jensen
タレントコーチ	Ole Jensen
ゴールキーパーコーチ	Gitte Sunesen
理学療法士	Jens Bo Jørgensen

タレントトレーニングの焦点

デンマークハンドボール協会のタレント育成システムの焦点は選手たちの個々の能力やスキルの開発です。そのため 6 対 6 のような複雑な集団トレーニングはタレントトレーニングでは実施されていません。それらのトレーニングは、ユー

ス代表チーム、ジュニア代表チームでの責任となります。（表2：タレントトレーニングプログラム参照）

タレントトレーニングの選手たちは、より小さなグループの中で、彼らのスキルが多くの反復を通じて改善されることとなるトレーニングを受けます。その中でDHFコーチからの修正やアドバイスを受けながらプレーを改善し、発展させていきます。

それと同時に食事や栄養、フィジカルトレーニング、傷害予防などの理論的な教育に加えて、トッププレーヤーとして生きていくためのパーソナリティーを教育していきます。これらの知識はタレントプレーヤーがナショナルプレーヤーへと発展していく場合に必要となるエリート人生を確立するのに役立つトピックとなります。

タレントトレーニングのこれらの目的は、短期的なユース・ジュニア代表チームに表される特定の技術的、戦術的な目的を満たせませんが、その代わりすべての才能がタレントトレーニングを通り抜けることで、長期的に育成を捉えた場合、最終的にすべてのタレントがDHFにとって必要な力量を持った選手として教育されているといえます。

表2　タレントトレーニングプログラム

5月16日（金曜日）	
17：00	到着＆軽食
17：30～19:30	トレーニング西（ポジション別トレーニング）
19：30～21:30	トレーニング東（ポジション別トレーニング）
19：45	夕食　西
21：45	夕食　東
5月17日（土曜日）	
08：00	朝食
08：45～10：15	個人面談
10：30	フィジカルテスト3000ｍ走
12：15	昼食 サマーキャンプについてのガイダンス
16：00～18：30	トレーニング　西と東 （個人技能に焦点を当てた攻撃的なDF、攻防）
18：45	夕食
20：00～21：00	理論
21：30	デンマークチャンピオンシップ決勝の観戦（TV）
22：00	軽食
5月18日（日曜日）	
08：00	朝食
10：00～12：00	トレーニング東と西（中央の2対2、5対4）
14：00～16：00	フィジカルトレーニング
16：15	軽食＋解散

体罰根絶に向けた最近の動向から

■体罰根絶全国共通ルールの制定について…（公財）全国高校体育連盟

（公財）全国高校体育連盟は5月22日に、体罰を行った指導者を1年間、全国高校総体（インターハイ）など高体連主催大会への出場を認めないことや高体連の役職を解くなど「体罰根絶全国共通ルール」を制定したと発表、平成26年7月1日より施行適用するとした。

高体連では体罰の根絶に向けて、平成25年1月には「運動部活動における体罰根絶に向けて（通知）」や、（公財）日本中学校体育連盟との合同で同年3月には「体罰根絶宣言」、更には、スポーツ関連5団体と協力して同年4月には「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」、同年5月には「行動宣言」などを出すなど様々な取り組みを進めていた。しかしながら、運動部活動における体罰が散見されるとして、今回「全国共通ルール」を制定し、組織をあげて体罰根絶に向けて指導することが、根絶宣言の具体化になるとしている。

詳細は（公財）全国高校体育連盟HPを参照下さい。
http://www.zen-koutairen.com/

■平成25年度に発生した都内公立学校における体罰の実態把握について…東京都教育委員会

体罰の実態調査を進めていた東京都教育委員会は5月22日、平成25年度中に都内の公立校111校で、教職員や外部指導員ら122人による体罰を確認したとする報告書を発表した。111校の内訳は、小学校39校、中学校52校、高校17校、特別支援学校3校であり、昨年より35校減としている。又、体罰を行った122人の内訳では、小学校42人、中学校60人、高校17人、特別支援学校3人であり、昨年より60人減としている。部活動中での体罰は、中学校で22人、高校で9人であるが、昨年の約1/3回に減少している。体罰を行った者の特性については、平均年齢は44歳、平均在職年数は18年である。女性は17名。

事案の概要では、「片手で生徒の髪の毛をつかんで立ち上がらせる」「拳で頭頂部を殴る」「手のひらで頬をたたく」「サンダルで頭頂部をたたく」「拳でみぞおち付近を小突く」なども報告されている。

詳細は東京都教育委員会のHPを参照下さい。
http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/

平成26年度 第17回ハンドボール研究集会要項

テーマ 「ゴール型教材としてのハンドボール―その7―」

趣　旨　平成20年3月28日に改訂告示された小学校新学習指導要領では、5・6年生のボール運動が従前の種目の列挙を改定して3つの型に分けられ、多彩な運動が選択できるようになった。すなわち、内容の取扱いの中で、「ゴール型はバスケットボール及びサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はソフトボールを主として取り扱うものとするが、これらに替えてそれぞれの型に応じたハンドボールなどのその他のボール運動を指導することもできるもの」とされ、さらに「学校の実態に応じてベースボール型は取り扱わないことができる」とされた。すでにハンドボールについては、従前の指導要領の全面実施によって、多くの授業実践が報告されるようになってきた。そして今回の改訂までの間、ほぼ10年間に渡る学校体育ハンドボール検討委員会の活動の成果として、ハンドボールは子どもたちの投能力を中心とした体力・運動能力の向上に適していることに加えて、他のボール運動より教材づくりや戦術学習が容易であること、さらに、小学1年生から6年生までの児童にとって取り組みやすく、楽しくできることなど、独自の諸特性をもっていることが明らかにされている。従って今回の改訂を受け、走・跳・投のバランスのとれたハンドボールの教材としての価値をさらにアピールしていくとともに、低・中学年のゲーム領域、及び中学校の球技との関連性を考慮した一貫指導体系を確立していかねばならないという必要性に迫られている。そこで本研究集会では、ハンドボールの魅力や諸特性に対してさらに認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったゴール型教材としてのハンドボールの指導体系の構築を目指した内容について研修する。

主　催　公益財団法人 日本ハンドボール協会

主　管　茨城県ハンドボール協会　つくば市ハンドボール協会

後　援　文部科学省（申請中）　茨城県教育委員会　つくば市教育委員会　土浦市教育委員会（申請中）　常総市教育委員会　牛久市教育委員会　守谷市教育委員会　坂東市教育委員会　つくばみらい市教育委員会　行方市教育委員会（申請中）　筑波大学体育系

対　象　小学校、中学校及び高等学校教諭、教員養成大学学生・大学院生及び教員、地域スポーツ指導者　日本ハンドボール協会J級指導員等

会　期　平成26年7月28日（月）～29日（火）

会　場　筑波大学　〒305-8574　茨城県つくば市天王台1-1-1　TEL：029-853-2111（代表）

日　程　7月28日（月）

受　付　12：00～12：30（筑波大学体育専門学群5C506教室）

開会式　12：30～12：50

講　演　12：50～13：50

講師　高橋修一（国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官（併）文部科学省教科調査官）

研究発表　14：00～15：10

実技研修　15：40～17：10（筑波大学中央体育館）

講師　山田永子（国際ハンドボール連盟Handball at School講師、筑波大学体育系助教）

ネメシュ ローランド（筑波大学体育系助教）

交流会　18：00～20：00（筑波大学大学会館レストランプラザ）

7月29日（火）

受　付　8：30～ 9：00（筑波大学中央体育館）

授業提案　9：00～11：00

つくば市立東小学校　3年「ハンドボール」授業

つくば市立東小学校　6年「ハンドボール」授業

質疑応答

講　義　11：00～12：00（筑波大学体育専門学群5C506教室）

講師　岡出美則（筑波大学体育系教授）

閉会式　12：00～12：15

学校体育ハンドボール検討専門委員会事務局

〒010-8502　秋田県秋田市手形学園町1-1

秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座　佐藤 靖 気付

E-mail：佐藤 靖 yasushi@ed.akita-u.ac.jp

TEL ＆ FAX：018-889-2577

大会事務局　〒305-8574　茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学体育系　會田 宏 気付

E-mail：會田 宏 hiroaida@taiiku.tsukuba.ac.jp

TEL ＆ FAX：0298-53-2635

参加費　大会参加費は3,000円（学生、大学院生1,000円。資料代、及び保険料込み。当日受付にて徴収いたします）。交流会参加費は、3,000円です。

参加申込　参加を希望される方は、①氏名　②生年月日　③勤務先　④連絡先住所・電話番号　⑤交流会参加の有無を明記の上（書式自由）、Eメールにて大会事務局までお申し込み下さい。

1）締切り日は特に設けません。当日も受け付けます。

2）派遣書が必要な場合は、その旨ご記入下さい。

発表申込　研究集会のテーマに関係する研究及び実践報告を募集します。発表を希望される方は、大会事務局、または専門委員会事務局まで直接ご連絡下さい。

1）口頭発表・質疑時間：発表時間は、質疑応答時間を含め、一演題につき約12分です。発表時間は演題数により変更することもあります。

2）発表にはビデオ、パワーポイントまたは資料等を使うことができます。資料を配布される方は、100部程度ご用意下さい。

3）締切り日：平成26年7月18日（金）

尚、資料の送付を希望される方は、期限までに大会事務局までご郵送下さい。その他、発表に関してご不明な点は、大会事務局までお問い合わせ下さい。

宿　泊　つくば市周辺ホテルは、当日イベント開催のため、予約が難しい状況になっています。大会事務局において、30部屋ほど準備しています。宿泊を希望される方は、7月18日（金）までに大会事務局宿泊担当（仙波慎平：xxnwm050@ybb.ne.jp）までお申し込み下さい。

宿泊先：筑波研修センター、〒305-0005 つくば市天久保1-13-5、1泊3,700円（食事なし）

平成26年度授業実践推進制度に基づく授業実践者募集要項
「小学校体育科授業におけるゴール型ハンドボール教材の展開について」

1　趣旨

小学校におけるゴール型教材としてのハンドボールの課題について、総合的に授業実践を行ない、体育科授業の充実を図るとともに、ハンドボールの普及を図る。

2　授業実践内容

（1）授業実践のテーマは次のとおりとする。

ア　児童の体力（投能力）の向上に関する取組の在り方と進め方。

イ　簡易ゲーム（タスクゲーム等）の工夫とその指導の在り方。

ウ　ゴール型教材としてのハンドボールの指導体系の在り方。

エ　その他

（2）授業実践者は、「ゴール型ボール運動」、もしくは「ゴール型ゲーム」でハンドボールを取り上げ、上記の内容から二つ以上のテーマを選び、その一つを主テーマとして、授業実践を進めることとする。

3　授業実践期間

おおむね2年間とする

4　対象授業実践者

各都道府県協会より推薦された教員の中から6名程度選出する。選出は（公財）日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討専門委員会で行なう。

5　授業実践に当たって

（1）授業実践者は、校内における授業体制を整備し、必要に応じて家庭や地域との連携も図りながら、計画的、継続的に授業実践を推進する。

（2）授業実践者は、（公財）日本ハンドボール協会、都道府県ハンドボール協会（市町村ハンドボール協会）の助言の下に授業実践を推進すること。

（3）授業実践者は、第1年次には授業実践の中間報告書を、また授業実践期間の終了時には授業実践成果報告書を、都道府県協会を経由して日本協会に提出すること。

（4）日本協会は、必要に応じて授業実践者および都道府県協会と連絡をとり、授業実践の推進について意見および情報の交換を行なう。

6　経費

日本協会は、授業実践の委託費として予算の範囲内で支出委任する。委託費は、1年目が6万円、2年目が4万円とする。

7　その他

日本協会は、必要に応じて実施状況および経理処理状況について、実態調査を行なう。

8　締切

第一次締切：平成26年7月18日（金）

9　申込、および問合せ先

ご不明な点は、以下にお問い合わせ下さい。

（公財）日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討委員会（代表　佐藤　靖）

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部
スポーツ・健康教育講座　佐藤研究室
TEL/FAX：018-889-2577
E-mail: yasushi@ed.akita-u.ac.jp

街が、語りはじめる

NIPPO

なにげない街の表情にも、新しい感性が発見できるもの。
「舗装」の彩り、風合が、街を個性的に演出します。
【横浜市・馬車道通り】 歩道：イギリスレンガ／車道：明色ロールドアスファルト

株式会社 NIPPO
本社：〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11
☎(03)3563-6711 URL:www.nippo-c.co.jp

北海道支店 ☎(011)842-8866　東北支店 ☎(022)262-1511　関東第一支店 ☎(03)5323-3681　関東第二支店 ☎(03)3471-0788
北信越支店 ☎(025)244-9186　中部支店 ☎(052)211-6581　関西支店 ☎(06)6942-6123　四国支店 ☎(087)862-1157
中国支店 ☎(082)568-6161　九州支店 ☎(092)771-0266　関東建築支店 ☎(03)3474-1601

～JHL40周年へアクションを～

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー
Free Throw

日本リーグがスタートして今シーズンで39回を迎え、来年は40回の節目に当たる。サッカーなどボールゲームの国内リーグ創設が相次ぐ中、1976年9月に6番目のリーグとして産声を上げげた。他の競技団体は実業団チームで組織されたが、ハンドボールは学生やクラブにも参加の意思を確認、結果として男子にクラブチーム、大阪イーグルスが加盟、画期的な出来事として注目を集めた。

第4回から2部制が導入されたが、女子が第23回、男子が第30回で終わったのは残念だし、寂しい。

リーグ創設の1976年は女子が初めて参加したモントリオールオリンピックの年だった。男子は9位、女子は5位の結果を残しているが、女子得点王に28点を挙げた蔵田輝美（立石電気）が輝いたのは特筆ものである。

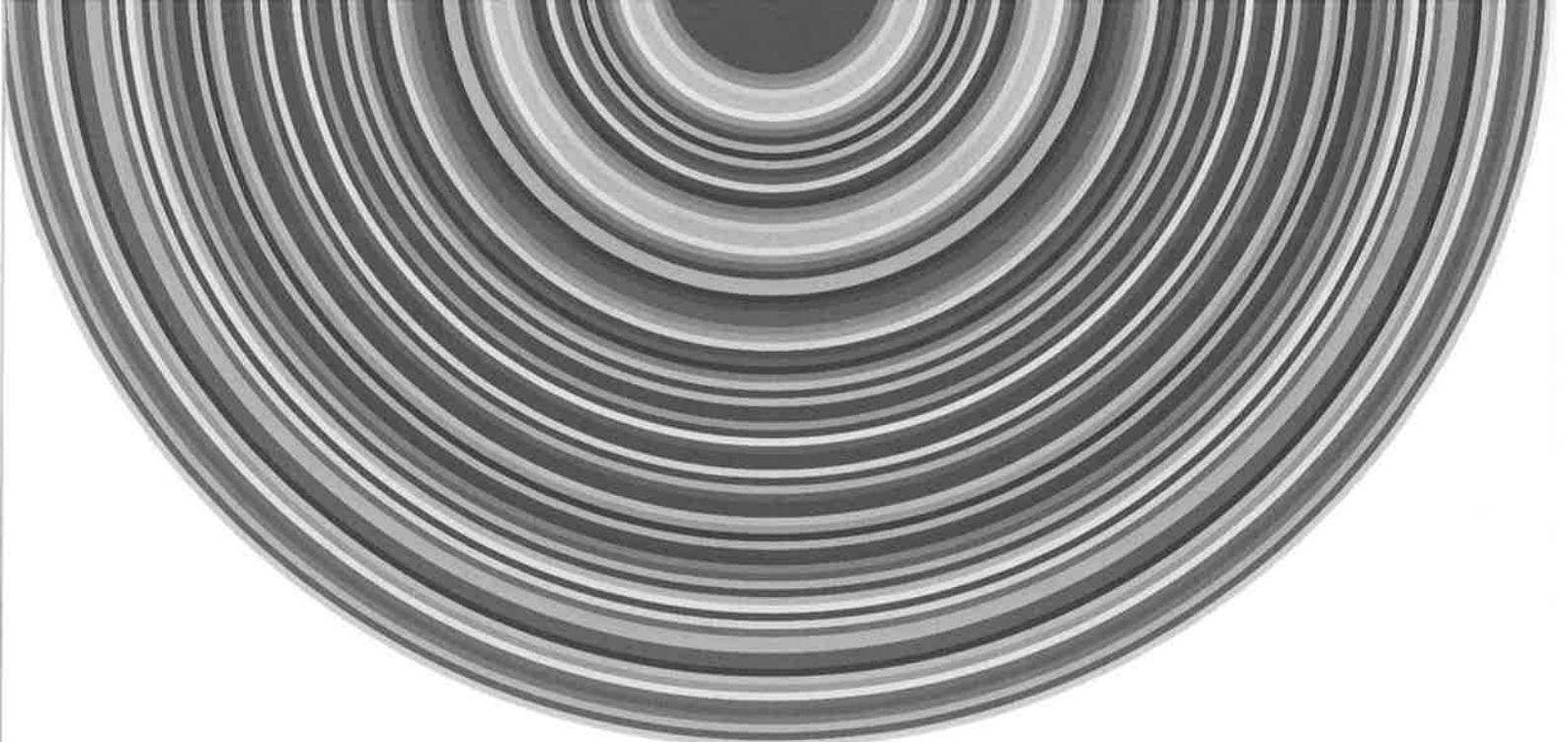
女子はオリンピックと縁が深いのかもしれない。2020年東京大会の前年には女子世界選手権日本開催が決まっている。来年はリオデジャネイロ五輪イヤー、男女そろって出場を成し遂げ弾みをつけたい。

ところで、日本リーグ40周年を迎えるにあたって普及・振興のためにも今年からイメージアップのイベントを打っていくべきだろうと思う。それがリオへのバックアップにもつながるはずだ。

昨年、バレーボールVプレミアリーグは20周年だった。リーグ機構は「排球大使」（アンバサダー）としてタレントやOB、OGを任命、イベントなどで盛り上げ、地域貢献活動などを行った。また、歴代最強ベスト6やミス、ミスターコンテストなどを企画、ファンとの交流を深めるイベントを次々と打った。

ハンドボール界としても、ファン、サポーターを巻き込んだ「40年記念イベント」を企画、アピールすることは大切だろう。ハンドボールを身近に感じてもらうことは、観客増にもつながるし、トップをはじめ各年代の活動にもプラスになるだろう。

試合会場で前座としてOB、OG対決や記念誌の発行、アンバサダーを起用してのファンとの交流会などシーズンを通して行ったらどうだろう。観客を会場に呼び込み、リピートを仕掛けることで、関心が高まるはずである。それがリオ五輪への後押しになり、選手にも励みになることは間違いあるまい。

そして40回大会ではプレーオフ終了後、ファンを巻き込んだ表彰イベントを開き、ファンとの“ツーショット撮影会”などを行ってみてはどうだろうか。とにかく、関係者だけでなく可能な限り広いエリアから「人」を集めることが肝心。今年からの2年間はリーグ重視のアクションを起こす―そうすることで少しでもハンドボールのネームバリュー向上に努めてはいかがだろうか。

（公財）日本ハンドボール協会公認審判員 レフェリーコース研修会に参加して

京都府ハンドボール協会　太田 直希（天理大学）　西山 周良（北嵯峨高校）

今回、私達が参加させていただいた平成25年度レフェリーコース（後期）は、第31回西日本医歯薬科学生ハンドボール選手権大会を実技研修の場として、京都府宇治市で3月14日（金）から16日（日）の2泊3日で行われました。

研修は越田義昭氏、吉田敏明氏による講義から始まりました。内容は、レフェリングに関する基本的事項、実際に全国大会において起こった事例の紹介から始まり、1試合を通して段階的罰則の判定基準に一貫性を持ち、レフェリー自身のハンドボール観を示すことや、攻撃側の違反を判定することでナイスディフェンスを評価することが必要であることなどをご教示していただきました。その他にも、ゲームの流れを読んだレフェリングを意識して不要な笛を無くすことや、ジェスチャーは「肘」先導で行うと動作が競技規則書に近いものになるといった細かな技術についてもご指導していただきました。また、講義後半の「考えること」がレフェリーとして重要であり、技術向上には欠かすことができないものであるという内容は印象的でした。競技規則書に記載されている内容や、教えられたことをただ単にこなすだけでは不足しているということです。つまり、教えていただいたことの意図を読み取り、本質を自ら考え、その考えに基づいて行動することがレフェリング技術の向上には欠かせないことを学びました。この「考えること」の重要性については、レフェリング技術の向上のみでなく、多くの物事に通じる考え方であるとも感じました。この講義を通じて得られたことをレフェリングの課題とし、今後の技術向上に繋げていきます。

2日間の実技研修では、講義内容を踏まえて3点の課題を意識しました。1つ目は、位置取りです。コート内で起こるすべてのプレーがペア2人で観察できる位置取りをすることを実践しました。2つ目として、1試合を通して段階的罰則の判定基準に一貫性を持つこと、そして3つ目として、攻撃側の違反を判定してナイスディフェンスを評価することを心掛けました。試合については3試合を吹笛させていただきました。3点の課題をペアで意識して吹笛した結果として、新たな課題の発見にも繋がり、3試合を吹笛する中でもペアとして成長できたのではないかと感じています。今回経験させていただいたことを糧として、絶えず謙虚にレフェリング技術の向上に精進してまいります。また、競技力と審判技術は両輪であるという考えを基に、今後はレフェリーのレフェリングによって、日本ハンドボール界の競技力向上に繋げていく所存です。

最後になりましたが、今回のレフェリーコースにおいてご尽力いただきました、越田義昭審査指導委員長、藤井俊朗審判部長、福島亮一競技規則研究委員長、吉田敏明社会人連盟審判長、岡辺清和近畿ブロック審判長、および関西学生連盟の皆様、そして年間を通して私たちにご指導をしてくださいました浅井隆志関西学生連盟前審判長、岸本光夫審査指導委員に厚く御礼申し上げます。

太田直希審判員

西山周良審判員

あなたの元気を未来につなぐ
Wakunaga
元気、やる気、笑顔、湧く。

≪販売名≫
キヨーレオピンw

滋養強壮
虚弱体質

第3類医薬品

≪販売名≫
レオピンファイブw

湧永製薬株式会社
ワクナガ
http://www.wakunaga.co.jp/
お取扱店のお問い合わせ 0120-39-0971
（通話料無料）　受付時間 9:00～12:00・13:00～17:00（土日祝日を除く）

2014年度 全日本大会レフェリー名簿

平成26年4月30日

大　会	開催地	期　日	審　判　員　氏　名	開催地
第4回 全日本 社会人選手権 （9ペア）	愛知県 名古屋市	7月2日 ～ 7月6日	◎吉田敏明　○坪井雅典 島尻真理子・太田智子（協会指名）　河合威廷・臼井　健（協会指名）　小川至門・内記　徹（協会指名） 黒木龍二・黒木秀吾（協会指名）　浦川寿生・石崎章弘（協会指名）　冨田　拓・野平健二郎（茨城・埼玉） 桶家秀介・魚川友康（富山）　松本光則・南川裕隆（愛知）　澤田英二・森山陽介（高知）	愛知県 名古屋市 （9）
第27回 全国小学生大会 （4ペア）	京都府 京田辺市	8月1日 ～ 8月3日	◎岡辺清和　○川勝裕義 駒谷研志・波多野祐介（兵庫）　田中　努・福永賢一（奈良）　手塚　勝・西田豊三（福井） 加世田祐作・松川雄司（愛知）	京都府 京田辺市 （4）
第65回 全日本 高校選手権 （24ペア）	神奈川県 川崎市 横浜市	8月2日 ～ 8月7日	◎島村浩信○尾崎浩祥 本田昭太・田渕元雄（協会指名）　安田　寛・永春文義（協会指名）　小田健介・鈴木孝明（北海道） 荒尾祐治・櫻庭正明（青森）　森　義則・高階和也（秋田）　村杉善之・飯塚敏章（福島） 伊藤翁一・堀田侑佑（富山）　金坂英宣・柏博　聡（石川）　上原一人・高村　一（長野） 山口悠歩・金井匡司（群馬）　林田誓太郎・榛葉　剛（東京）　四元俊一・野中　毅（栃木） 羽角健二・松尾茂雄（埼玉）　伊東史裕・菅原圭悟（神奈川）　各務宗孝・森　裕太（岐阜） 大谷浩司・杉浦知雄（愛知）　新井友彦・中嶋　秀（兵庫）　西山周良・太田直希（京都） 吉田達明・藤原孝夫（鳥取）　天野誠司・松村和紀（徳島）　小牟禮竜太・池畠丈二（鹿児島） 前田隆志・北羅雅士（大阪）　岡田雅央・水津研二（山口）　斉木翔平・北野冬馬（神奈川）	神奈川県 川崎市 横浜市 （24）
第19回 ジャパン オープン （15ペア）	和歌山県 和歌山市 紀の川市 岩出市	8月9日 ～ 8月12日	◎藤井俊朗　○岡辺清和　○吉田正明 河合威廷・臼井　健（協会指名）　浦川寿生・石崎章弘（協会指名）　亀山耕司・水谷省一（北海道） 中川英明・横嶋信一（富山）　高橋恭文・塚本　光（東京）　水野　遼・山田祐輔（愛知） 畑中寛之・梅木信男（岐阜）　北山力也・貝田良寛（兵庫）　吉田　健・岡野哲裕（京都） 白川裕隆・中村和義（山口）　野島祥之・石原秀和（岡山）　河野翔保・小笠原龍太（愛媛） 上杉洋一・宮崎和彦（大分）　邊　輝哲・工藤和貴（岩手）　木下豪人・竹ノ下晴彦（和歌山）	和歌山県 和歌山市 紀の川市 岩出市 （15）
第43回 全国中学校 （12ペア）	愛媛県 松山市 伊予市	8月17日 ～ 8月20日	◎戸塚幸廣　○武智誠治 比留間康・北嶋　浩（協会指名）　稲生淳一・沢崎亮太（千葉）　足立智司・田中基明（愛知） 下屋幸比古・佐々木聖恭（岐阜）　寺内啓之・細川泰輔（大阪）　國澤　隆・指野　緑（岡山） 青江活茂・所　努（岡山）　弘田睦仁・浜田哲雄（高知）　田中　愛・白石智子（愛媛） 山地翔・川内健矢（香川）　堀川智宏・内海秀昭（大分）　金城勇人・新里泰司（沖縄）	愛媛県 松山市 伊予市 （12）
第69回 国民体育大会 （18ペア）	長崎県 佐世保市	10月16日 ～ 10月20日	◎藤井俊朗　○島村浩信　○金子弘明 島尻真理子・太田智子（協会指名）　浦川寿生・石崎章弘（協会指名）　木下豪人・竹ノ下晴彦（和歌山） 高橋容平・磯部尚志（北海道）　荒尾祐治・櫻庭正明（青森）　堀江成典・東野流生（東京） 土橋邦彦・清水啓佑（長野）　油上　智・中村行志（静岡）　水野　遼・山田祐輔（愛知） 新井友彦・中嶋　秀（兵庫）　田中　努・福永賢一（奈良）　蟻川武司・瀬良研一（愛媛） 野島祥之・石原秀和（岡山）　山本　淳・山本孝志（島根）　福島亮一・重村達浩（熊本） 青木忠久・原口佳也（長崎）　岩崎栄一・中藤圭祐（宮崎）　前上里亘・知念昌平（沖縄）	長崎県 佐世保市 （18）
男子第57回 女子第50回 全日本 学生選手権 （13ペア）	岐阜県 岐阜市 各務原市	11月22日 ～ 11月26日	◎高野　修　○　＊各ブロック学生連盟からの推薦を参考に調整。 黒木龍二・黒木秀吾（協会指名）　小川至門・内記　徹（協会指名）　田中　潤・河合　哲（全日本学連） 小田健介・鈴木孝明（北海道）　大澤　勝・谷藤　航（岩手）　岡　裕之・東出拓也（石川） 伊東史裕・菅原圭悟（神奈川）　東海学連1ペア　関西学連1ペア 中・四国学連1ペア　福島亮一・重村達浩（熊本） 各務宗孝・森　裕太（岐阜）　開催ブロック又は地元協会から2ペア	岐阜県 岐阜市 各務原市 （13）
第66回 全日本総合 （8ペア）	愛知県 名古屋市	12月24日 ～ 12月28日	◎藤井俊朗　○仲田　稔　○浜田浩和　○坪井雅典 日本協会競技本部で選出	愛知県 名古屋市 （8）
第23回 JOCカップ （14ペア）	福島県 福島市	12月25日 ～ 12月28日	◎戸塚幸廣　○中舘　豊 日本協会指名1ペア　篠原　理・石垣正樹（北海道）　小針竜之・郷　尚之（福島） 岩角聖孝・上飯坂徹（岩手）　大内敦史・古賀直哉（宮城）　佐藤卓也・園谷健志（福井） 桶家秀介・魚川友康（富山）　高橋　智・野川早苗（埼玉）　得居秀匡・村上　隆（東京） 中田　隆・横川賢一（栃木）　松本光則・南川裕隆（愛知）　軒田隼人・栗田基秀（静岡） 向井勝二・上野修一（兵庫）　近藤和矢・塩見雅之（京都）	福島県 福島市 （14）
第10回 春の全国 中学生選手権 （18ペア）	富山県 氷見市	3月25日 ～ 3月29日	◎藤井俊朗　○戸塚幸廣　○岩上浩一郎 大熨嘉彦・山本篤洋（協会指名）　島尻真理子・太田智子（協会指名）　野地敏雄・小俣宏之（福島） 渡辺英治・伊藤　奨（山形）　森　義久・大房和雄（富山）　岡　裕之・東出拓也（石川） 小岩井浩明・森山海里（長野）　矢崎　豊・名取　中（山梨）　勅使河原誠・白石　淳（群馬） 井上武始・物部昌太郎（東京）　深見忠司・伊藤誠祐（愛知）　若森紗羅良・古川英樹（岐阜） 吉田太郎・細井洋孝（愛知）　岡村敏行・濱口雄飛（兵庫）　藤本貴啓・鳥羽　勇（大阪） 竹安未央・浜田倫暢（鳥取）　岡田雅央・水津研二（山口）　澤田英二・森山陽介（高知）	富山県 氷見市 （18）
第38回 全国高校選抜 （18ペア）	愛知県 豊田市 岡崎市	3月25日 ～ 3月30日	◎島村浩信　○尾崎　浩祥 安田　寛・永春文義（協会指名）　比留間康・北嶋　浩（協会指名）　合田亨弘・橋本　賢（北海道） 石山祐輔・小松悦郎（秋田）　城戸佑太・東川泰斗（福井）　水内隆夫・大脇和春（新潟） 飯田健一・貝塚雅人（茨城）　高橋恭文・塚本　光（東京）　貝沼圭吾・須原幸一（三重） 近藤　悟・吉田博紀（静岡）　高森　賢・杉山寛政（岐阜）　駒谷研志・波多野祐介（兵庫） 吉田　健・岡野哲裕（京都）　森山　透・馬場智也（広島）　寺尾智明・柴岡貴広（岡山） 岩本靖史・藤原　初（徳島）　松本幸介・中山裕介（熊本）　伊藤慎介・大石　剛（愛知）	愛知県 豊田市 岡崎市 （18）

◎：審判長　○：副審判長

西村亮治氏、旭日双光章の受章にそえて

愛知県ハンドボール協会理事長　**矢野 哲二**

この度、本協会顧問西村亮治氏は、多年スポーツ界、取り分けハンドボール競技の普及振興に寄与された功績を認められ、旭日双光章を授与されました。

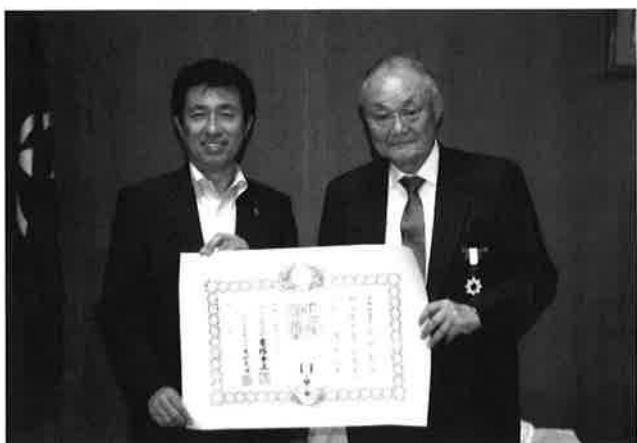
このことは本協会はもとよりハンドボール関係者に取りましてもこの上ない光栄と存ずる次第です。

西村氏は昭和35年大同製鋼（現大同特殊鋼）に入社以来、大同製鋼チームの立ち上げから今日までハンドボール界に多大なる尽力を注がれました。

昭和41年4月に、愛知県ハンドボール協会の役員に就任以来、理事、副理事長、理事長、副会長の役員を歴任し、47年間の長きにわたり、本県のハンドボール競技の普及・振興、競技力の向上及び協会組織の充実・発展に多大な功績を残されました。特に、理事長在任中には各種大会の招致に尽力し、平成14年12月には、第54回全日本総合ハンドボール選手権大会を開催するとともに、スーパーチャレンジ2002及びJAPAN CUP '03などの国際大会を開催し成功に導きました。大会の運営に当たっては、理事長として陣頭指揮を執り、関係者との円滑な連携の下に細部に行き届いた運営を行い、その指導力が高く評価されました。副会長就任後は、豊かな経験に裏打ちされた知見から、後進の育成、指導にも力を発揮し、「ハンドボール王国愛知」を支える若手人材の精神的な支柱となっております。また、理事長・副会長就任中を通じ、指導者・選手には日頃よりきめ細かな配慮をし、国民体育大会では第56回・57回・58回と3回連続男女総合優勝に導かれました。また一方で、ハンドボール競技の普及・発展のため、平成14年4月にNPO法人名古屋スポーツクラブを設立し、ハンドボールチーム「HC名古屋」のゼネラルマネジャーとして運営し、日本女子ハンドボールリーグに参戦させるとともに、地域の小中学生を対象としたハンドボール教室等を積極的に実施し、小学生からシニア世代までのチームを活動させるなど、本県のハンドボールの競技力向上と多世代にわたる競技人口の拡大に今なお現場の第一線で活躍されております。

昭和62年から平成4年まで、日本ハンドボール協会の常務理事、また平成15年から平成19年までは再び同協会の理事に就任し、都道府県協会と日本協会との連携強化をはじめとした協会組織の整備及び日本代表選手の育成・強化に優れた手腕を発揮しました。また、昭和51年9月の日本ハンドボールリーグの発足に当たっては、発足当初からリーグ運営委員に就任するとともに、昭和62年から6年間同運営委員長を務めて、我が国における最高峰のリーグの一つである日本ハンドボールリーグの運営を軌道に乗せ、運営責任者として草創期のリーグ運営基盤の確立に大きな功績を残されております。

最後になりますが西村亮治顧問には今までどおり冷静な判断力・指導力・行動力をもっていつまでも本協会、ハンドボール界の為にご指導頂けますよう心よりお願い致します。

旭日双光章の受章、本当におめでとうございました。

スコアルーム

第9回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

開催期日：3月26日～29日
会　場：富山県・氷見市ふれあいスポーツセンターほか

【男　子】

▼1回戦

- 広島メイプルジュニア（広島）35（16－8、19－16）24 成　田（宮城）
- 諫早クラブ（長崎）26（12－9、14－12）21 十和田ユース（青森）
- 東大寺学園（奈良）14（6－9、8－4）13 清水第二（静岡）
- 氷見北部（富山）28（15－11、13－11）22 浦　西（沖縄）
- 平　田（山口）34（18－8、16－6）14 彦根東（滋賀）
- 八　万（徳島）12（6－4、6－5）9 神　埼（佐賀）
- 山梨南（山梨）36（20－6、16－2）8 境港第三（鳥取）
- 多津美（岡山）26（10－8、10－12）25 中川西（神奈川）
  （1－2　延長　2－1）（3　7mTC　2）
- 下小路（岩手）25（9－9、16－12）21 延　岡（宮崎）
- 重　富（鹿児島）30（12－12、18－10）22 厚別北（北海道）
- 培　良（京都）28（15－8、13－8）16 羽　後（秋田）
- HC江津（島根）23（10－7、13－6）13 貴志川（和歌山）
- 西　條（開催地）39（19－11、20－12）23 松　橋（熊本）
- 更埴西（長野）19（11－11、8－7）18 大阪十三（大阪）
- ヴァルト岐阜（岐阜）30（15－9、15－8）17 多々良中央（福岡）

▼2回戦

- 広島メイプルジュニア（広島）20（10－5、10－9）14 滝　尾（大分）
- 富　岡（群馬）20（6－10、14－9）19 横　浜（高知）
- 安　宅（石川）31（11－8、20－16）24 諫早クラブ（長崎）
- 戸　塚（埼玉）26（11－5、15－2）7 東大寺学園（奈良）
- 氷見北部（富山）28（14－8、14－12）20 若　松（千葉）
- 平　田（山口）23（12－8、11－6）14 石　川（福島）
- 高　砂（兵庫）23（11－2、12－5）7 八　万（徳島）
- 菰　野（三重）26（14－8、12－10）18 山梨南（山梨）
- 滝ノ水（愛知）22（10－5、12－8）13 多津美（岡山）
- 香川第一（香川）30（17－6、13－12）18 下小路（岩手）
- 東久留米西（東京）35（18－4、17－10）14 重　富（鹿児島）
- 明　倫（福井）32（13－12、19－13）25 培　良（京都）
- 野　木（栃木）24（8－9、9－8）23 HC江津（島根）
  （2－4　延長　2－0）（3　7mTC　2）
- 西　條（開催地）33（17－11、16－9）20 尾花沢（山形）
- 更埴西（長野）22（11－6、11－15）21 久　米（愛媛）
- ヴァルト岐阜（岐阜）26（16－14、10－9）23 けやき台（茨城）

▼3回戦

- 広島メイプルジュニア（広島）30（15－11、15－11）22 富　岡（群馬）
- 戸　塚（埼玉）39（16－11、23－12）23 安　宅（石川）
- 平　田（山口）24（11－8、13－10）18 氷見北部（富山）
- 菰　野（三重）26（10－9、16－11）20 高　砂（兵庫）
- 香川第一（香川）19（8－6、11－12）18 滝ノ水（愛知）
- 東久留米西（東京）36（20－11、16－15）26 明　倫（福井）
- 西　條（開催地）35（20－6、15－6）12 野　木（栃木）
- ヴァルト岐阜（岐阜）30（13－11、17－13）24 更埴西（長野）

▼準々決勝

- 戸　塚（埼玉）29（11－15、18－11）26 広島メイプルジュニア（広島）
- 平　田（山口）27（17－8、10－14）22 菰　野（三重）
- 東久留米西（東京）34（16－9、18－15）24 香川第一（香川）
- 西　條（富山）37（21－13、16－20）33 ヴァルト岐阜（岐阜）

▼準決勝

- 平　田（山口）22（12－8、10－10）18 戸　塚（埼玉）
- 西　條（開催地）37（16－15、14－15）35 東久留米西（東京）
  （5－2　延長　2－3）

▼決　勝

- 平　田（山口）41（22－12、19－15）27 西　條（開催地）

【女　子】

▼1回戦

- 鶴　城（熊本）19（8－3、11－7）10 中　田（宮城）
- 延　岡（宮崎）31（11－4、20－2）6 鳴門第一（徳島）
- 下津井（岡山）28（12－7、16－7）14 立命館守山（滋賀）
- 光　陽（福井）25（8－8、17－6）14 東根第一・玉野（福島）
- 東久留米西（東京）26（14－7、12－6）13 隼　人（鹿児島）
- 土浦第三（茨城）22（14－3、8－7）10 湯沢北（秋田）
- 緑ヶ丘（奈良）16（8－7、8－7）14 岐阜7beat（岐阜）
- 平　針（愛知）18（12－3、6－7）10 三郷北（埼玉）
- 大　利（福岡）18（11－6、7－7）13 凌雲・光成（北海道）
- 本宮第一（福島）22（10－11、12－8）19 甘楽第一（群馬）
- 今治東（愛媛）10（2－5、6－3）8 菰　野（三重）
  （1－0　延長　1－0）
- 港　川（沖縄）37（20－6、17－9）15 野　木（栃木）
- 大　住（京都）16（10－5、6－4）9 塩　山（山梨）

▼2回戦

- 鶴　城（熊本）17（11－4、6－7）11 荒　川（和歌山）
- 若　松（千葉）32（15－1、17－4）5 静岡東（静岡）
- 西中原（神奈川）21（12－4、9－11）15 延　岡（宮崎）
- 小松南部（石川）15（6－5、9－8）13 下津井（岡山）
- 光　陽（福井）21（9－5、12－6）11 山　田（香川）
- 東久留米西（東京）28（14－6、14－8）14 甲　田（広島）
- 土浦第三（茨城）20（9－6、11－10）16 西　條（開催地）
- 原　川（大分）32（17－5、15－8）13 緑ヶ丘（奈良）
- 平　田（山口）15（7－7、8－6）13 平　針（愛知）
- 長崎ジュニア（長崎）30（11－1、19－0）1 土　佐（高知）
- 大阪ジュニア（大阪）24（8－4、16－6）10 大　利（福岡）
- 本宮第一（福島）19（8－7、8－9）18 屋　代（長野）
  （1－1　延長　2－1）
- 今治東（愛媛）19（9－8、10－6）14 望　海（兵庫）
- 港　川（沖縄）24（9－9、15－9）18 氷見北部（富山）
- 花　巻（岩手）25（13－5、12－9）14 神　埼（佐賀）
- 大　住（京都）38（19－5、19－3）8 境港第一（鳥取）

▼3回戦

- 若　松（千葉）10（4－5、6－4）9 鶴　城（熊本）
- 小松南部（石川）17（6－9、11－4）13 西中原（神奈川）
- 東久留米西（東京）17（10－3、7－5）8 光　陽（福井）
- 原　川（大分）21（8－12、13－7）19 土浦第三（茨城）
- 平　田（山口）16（11－3、5－7）10 長崎ジュニア（長崎）
- 大阪ジュニア（大阪）44（23－6、21－6）12 本宮第一（福島）
- 港　川（沖縄）27（17－2、10－13）15 今治東（愛媛）
- 大　住（京都）31（15－6、16－5）11 花　巻（岩手）

▼準々決勝

- 若　松（千葉）14（11－2、3－7）9 小松南部（石川）
- 東久留米西（東京）26（12－17、14－8）25 原　川（大分）
- 平　田（山口）15（6－6、9－4）10 大阪ジュニア（大阪）
- 港　川（沖縄）18（9－5、9－5）10 大　住（京都）

▼準決勝

- 東久留米西（東京）32（17－8、15－11）19 若　松（千葉）
- 平　田（山口）19（11－8、8－8）16 港　川（沖縄）

▼決　勝

- 平　田（山口）25（7－8、12－11）24 東久留米西（東京）
  （3－4　延長　3－1）

がんばれハンドボール20万人会「サポート会員」4・5月入会・継続会員

【埼　玉】根城　泰、吉原　伯【千　葉】舎利弗芳子、外山朝子【東　京】緑川正博、塩川安賢、中澤重夫、市川央人、大塚文雄、兼子　真、菊地知男、梶間珠美【神奈川】近久紀人、棚村友博、吉澤和美、久保公雄、佐分正典、斉藤航大、久保靖子【富　山】金原　至【石　川】酒谷信彦【福　井】森国琢人、飯田柊馬、吉田妃那、松本侑大、吉田和幸、宮下楓也、吉田幸雅、宮下千毅、下川敬路、坂本健太、渡利詩穂、上坂　瑞、渡利英明、増田ふう、升澤結菜、坪川公香、山岸夏海、堀田芽依、藤田幸歩【愛　知】西川勤也、浅野克彦、川添浩美、久村修三、山本幸代【三　重】加藤　公【大　阪】草ノ井文子、大西和雄【岡　山】村田憲俊【広　島】山下明子、小山　章、有田　忍【沖　縄】大城一樹

【7月・8月の行事予定】

【会議】

7月12日(土)　常務理事会

【大会】

7月2日(水)～6日(日)
第4回全日本社会人選手権大会…(愛知県・名古屋市)

7月12日(土)～13日(日)
第34回全国クラブ選手権大会・西地区…(高知市)

7月12日(土)～13日(日)
第34回全国クラブ選手権大会・東地区
……………………………………(福島県・本宮市)

8月1日(金)～3日(日)
第22回全日本マスターズ大会…(沖縄県・浦添市他)

8月1日(金)～3日(日)
第27回全国小学生大会………(京都府・京田辺市)

8月2日(土)～7日(木)
第65回全日本高校選手権大会(神奈川県・川崎市他)

8月2日(土)～14日(木)
第14回男子ジュニアアジア選手権………(イラン)

8月3日(日)～10日(日)
第22回世界学生選手権………………(ポルトガル)

8月9日(土)～12日(火)
第19回ジャパンオープントーナメント(和歌山市他)

8月17日(日)～20日(水)
第43回全国中学校大会………(愛媛県・松山市他)

8月19日(火)～20日(水)
第41回全国高等専門学校選手権大会
……………………………………(徳島県・鳴門市)

8月23日(土)～24日(日)
第16回全日本ビーチハンドボール選手権大会
……………………………………(愛知県・南知多町)

HAND BALL CONTENTS Jun. Jul.

asics®
sound mind, sound body

うまくなりたいと思ったら、
言い訳しないことだ。

BETTER YOUR BEST
WITH ASICS.COM

©JHA 2013年ハンドボール日本代表

鋭いカットインからのジャンプシュート動作に着眼。

GEL-FIREBLAST THH532
¥14,000+税

アストロブルー×ホワイト (4301)

ブラック×ピンク (9019)

ホールド性向上でさらに力強く。

GELBLAST® 5 THH533
¥12,800+税

イエロー×シルバー (0493)

レッド×ホワイト (2301)

●表示価格はすべて消費税抜きのメーカー希望小売価格です。●消費税率は改定により変動する場合があります。●商品についてのお問い合わせは、0120-068-806（携帯・PHSからもおかけいただけます） asics.com

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。

外国で地図を見た。それは僕たちがいつも見ているものとはぜんぜん違っていた。やっと見つけた僕らの国は右の端にいた。小さい地図なら省かれそうだった。そうか。世界からみたらそうか。世界の中心は国の数だけある。世界の中心は人の数だけある。そろそろ考えよう。世界と戦うことじゃなくて世界に必要とされる僕たちにどうしたらなれるだろうか。そろそろ飛びだそう。この国をつくるのはこれからの僕たちなんだから。

日本人のイメージ、変えちゃおうぜ。

（公財）日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』第五四四号

平成二十六年六月二十六日印刷
平成二十六年七月一日発行

東京都渋谷区神南一―一―一
電話　代表〇三―三四八一―二三六一
振替　〇〇一二〇―七―一〇二九三

編集兼発行人　川上憲太

定価　年間三三〇〇円